小林さんちのメイドラゴン

クール教信者
Coolkyousinnjya

4

ACTION COMICS

The maid dragon of Kobayashi-san

小林さんちのメイドラゴン

The maid dragon of Kobayashi-san

4 クール教信者

Coolkyousinnjya

ACTION COMICS

もくじ

第31話 トールとイルル……005
第32話 トールと出会いⅡ……023
第33話 トールと温泉……037
第34話 カンナと授業参観……051
第35話 エルマと会社……065
第36話 イルルと小林さん……079
第37話 トールとあれ……091
第38話 小林さんとイルル……103
第39話 トールとおもり……129

第31話
トールとイルル
キレイな街並…
笑う人々…
これだけあれば…
ス ト…
いくらでも破壊を楽しめる
なのに 人間と笑う混沌の竜…
さて…さてさてさて…
様子見をした時間が無駄になっちゃった…
だって…

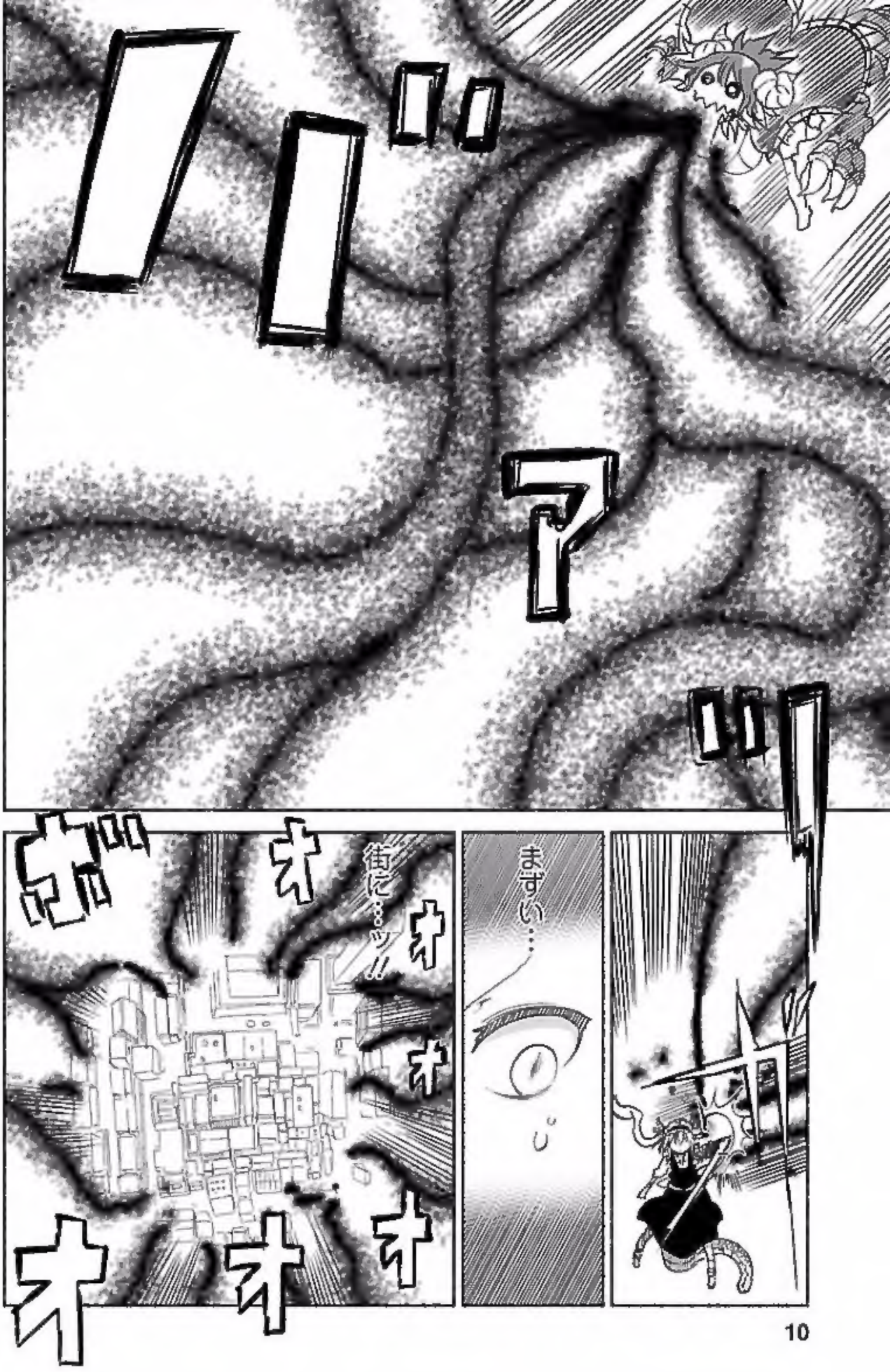
皆…
敵なわけだし
ヒロ
ヤバ
小林さん
下がって!!
トッ

アハア♡
ツ
ズズ…
何あれ…
イルルだ
…
ッ…
トール!!
あ…
混沌勢の最過激派…
とにかく破壊を楽しみとしている
まさかあいつが来るなんて…
チチ…

きっと トールに
つられて来たんだ…
言わんこっちゃない…
あいつはこの世界を
滅ぼすつもりだぞ
トール…
どうする
つもりだ？
トールにつられてきた
そりゃ…
なんとか
するでしょ
小林さん…イルルの
強さはトールの
ちょっと下…
戦えば ここら
一帯が壊れて
しまうぞ！
それも何とか
するでしょ
トールを
信じて
いるのか？
まぁ…
やる事がね
それしかない
だからそれだけする

破壊は
この世界では
無しです
できないなら
ぶっとばして
送り還しますよ
できるできないも
ないよね？
私達はそういう
存在だよ？
それに
戦うのは…

望む
ところ
その程度の
攻撃で…


まずい…
街に…ッ!!

ア
ア
あっ…
バアー
あっ

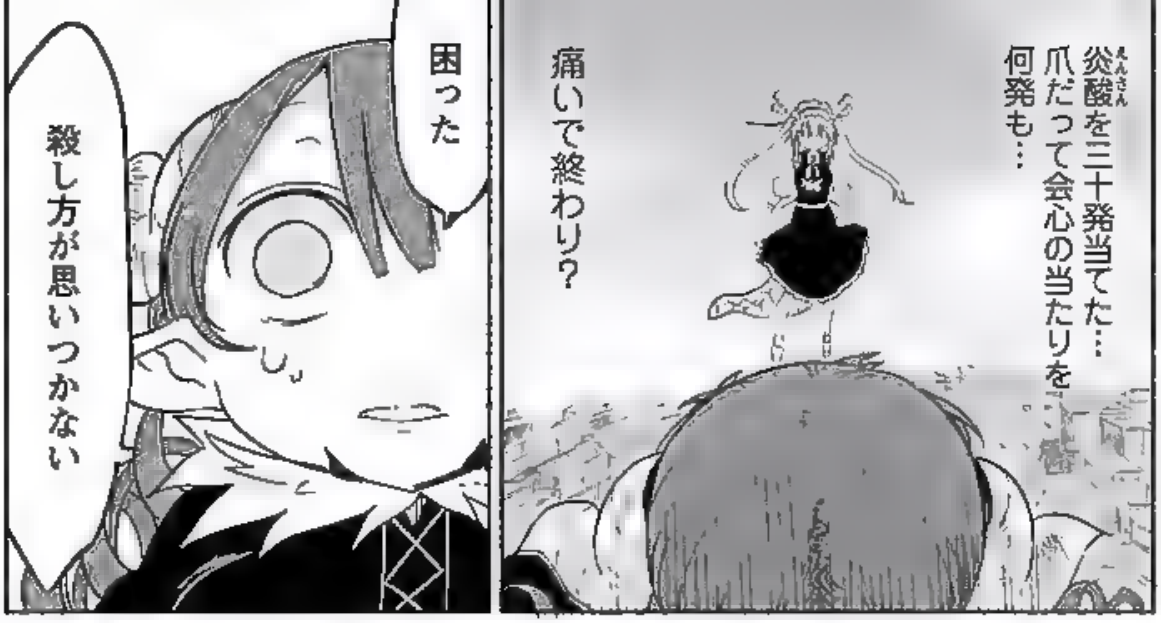
二発目
いくよ…
く…苦戦してるなー
いつ…
たあああ

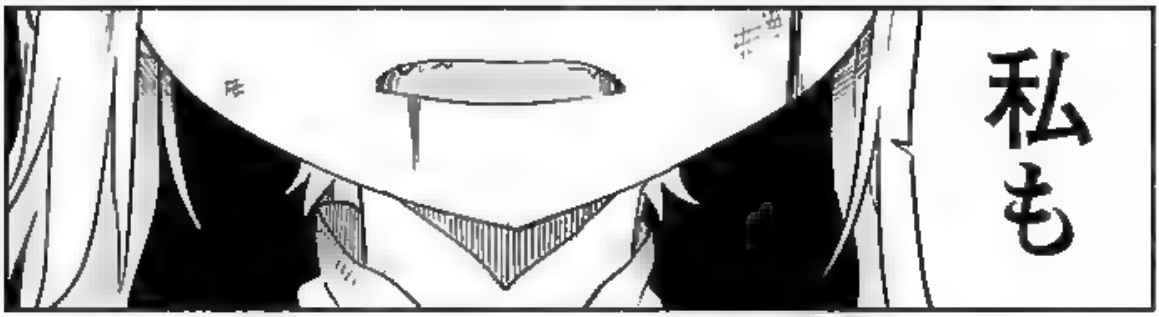
トールは街を守りながら戦っている…
不利だ
……
エルマは…手伝ってあげないの？
私が？
私は調和勢だぞ？
トールとは本来 敵なんだ
加勢はしない
私だけじゃない
ファフニール殿は自分のケツは自分でふけと言うだろう
ルコア殿は傍観勢 故に手を出さない
カンナに至っては力不足だ
トールがやられたら私も戦おう
あなたも街も守ってみせよう
…それじゃ
まずいんじゃ…

信じてるだけって
力になってないなら
何もしてないのと
一緒だよなぁ…
でも私には
それしか…
いや…
まだできる
ことが？

エルマ!!
！
言ったろ…
加勢はでき
プリン
え？
待て…いくら
なんでも
そんなもので
私が…
シュークリーム！
待て…
まてまて
ガトーショコラ!!
コーヒーゼリー
メイプルシロップ
パンケーキ!!

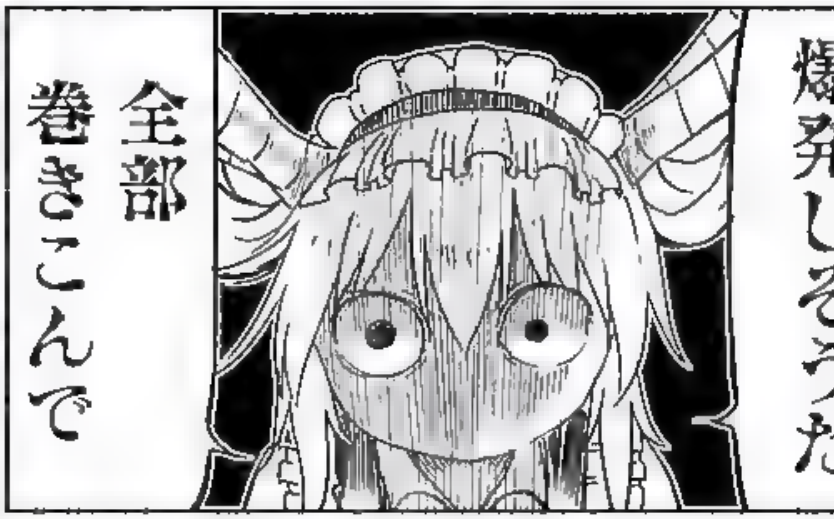
甘いの
食べられる
だけ全部!!
ふ～ん
いった～っ
ふ～ん


炎酸を三十発当てた…
爪だって会心の当たりを
何発も…
痛いで終わり？
困った
殺し方が思いつかない

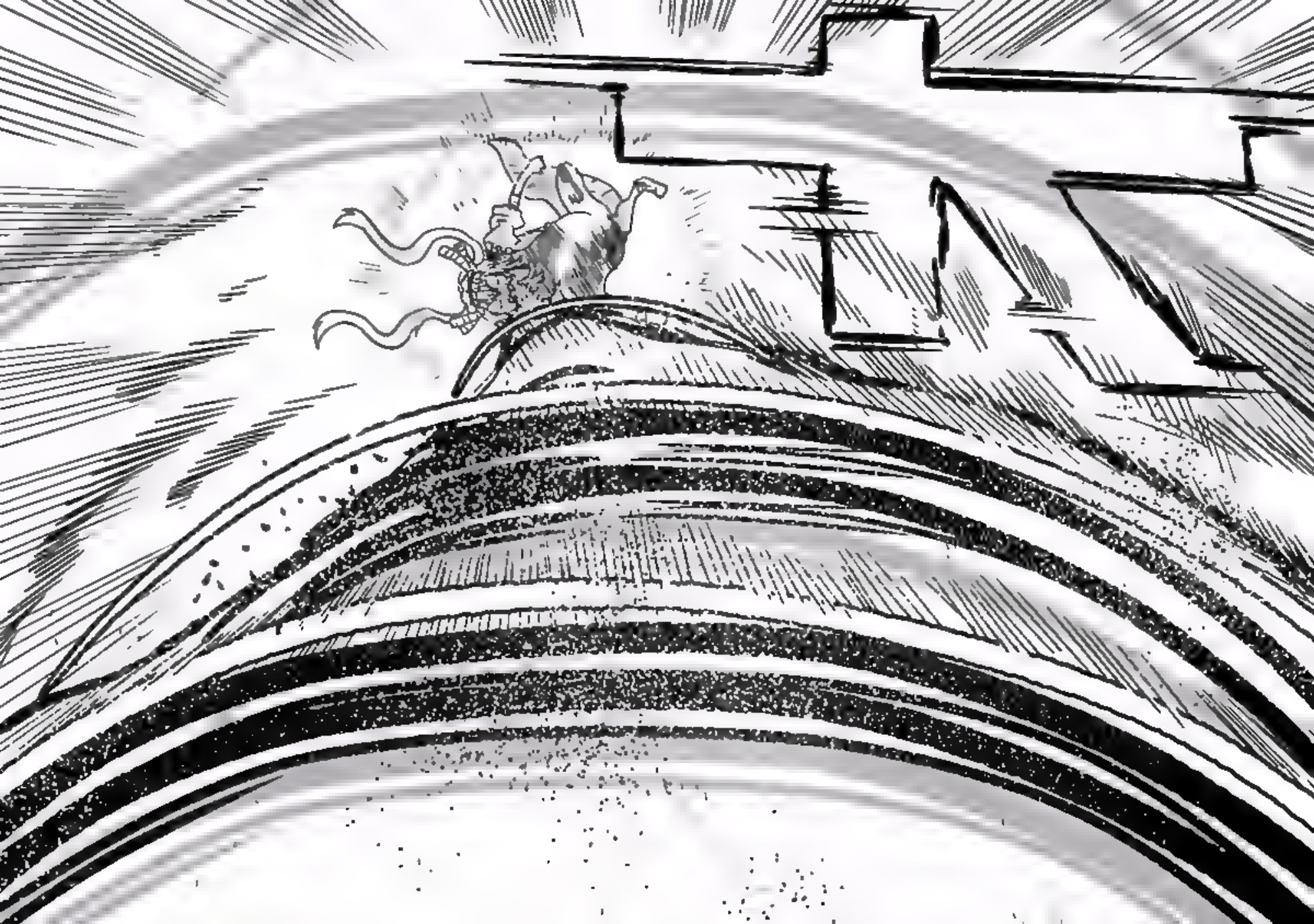

私も

思いっきり
攻撃したら
街が壊れる
でも
じゃないと
お前を倒せない
お前の攻撃も
いい加減
うっとうしい…
でも
街も守んなきゃ
いけないし…

強がりだ…
強がりだ


爆発しそうだ
全部
巻きこんで

!?
トール
エルマが街に結界張ってくれたから!!
これが限界だぞ
小林さん…
…だから何?
人と慣れあって気持ち悪いよ
ボボボ



ズ…
ス
ウ
ァアアアア

ズズ…
ズル
人間が…
エルマを
動かして
トールを助けた？
なんで
なんで？
人間は
敵で…
そう
教わって…
そう産まれて…
知りたい…
あの人間のこと…

ギリギリだった……
ダメージは
そんなでもないけど…
街を守りながら
っていうのを
忘れかけた…
小林さん以外なら
死んでもかまわないって…
思いかけた…

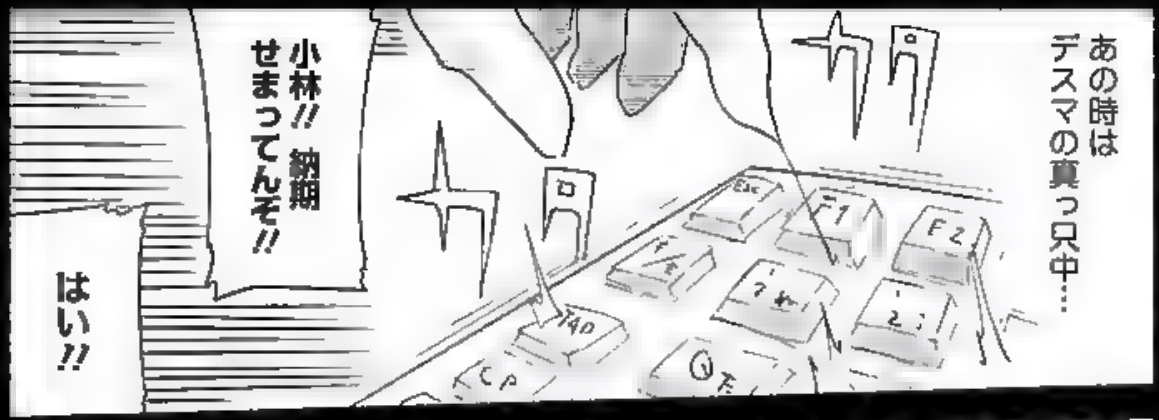
それじゃあ
この世界に
いられない
……
小林さん
小林さん…
あの…
ポン
!!

私は
いくらでも
頑張れる

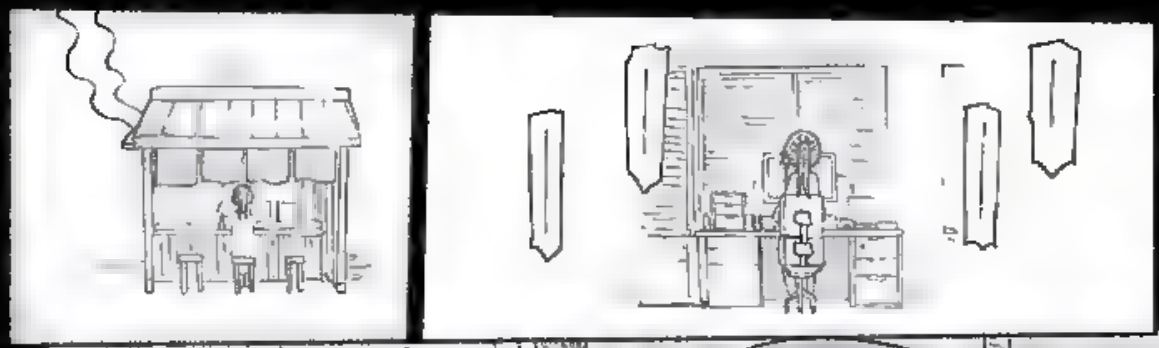
小林さんの隣にいるためなら
どんな壁だって…
ぶっ壊していける!!

第31話／おわり

ガチャ
ただいまー
トールは買い出しか…
カンナちゃんはもう寝てるかな
……
トール来てくれてよかったなぁ…
私がトールと出会ったのは数ヶ月前
私の仕事がやばかった時だ


あの時は
デスマの真っ只中…
小林!! 納期
せまってんぞ!!
はい!!

小林!!
エラー
出てんぞ!!
はい!!
小林!!
はいはい!!
こば…
うるせぇ!!



その日 私は…
飲みすぎていた

ドラゴンと出会った

第32話 トールと出会いII

酔いの勢いは怖い
ドラゴンだぁ!!
超カッコイイ!!
抱いてー
ヒュー!!
人間…?
去レ!
食イ殺スゾ
ドコカラ
入ッテキタ…
マァ
ドノミチ…
!?
我モスグ
死ヌ…
神共ト戦イ
敗レテコノ地…
異界ヘ来タ…
最後ニ会ッタ者ガ
人間トハ……
クク…
ミジメナモ…
あのさぁ

私は本当に飲みすぎていたのだ

いいかぁ？
いくら私の夢でもなぁ…
ドラゴンまで卑屈になることないだろぉ
ヒック
ダン
はぁ…
すいません
しかし助かりました…
恐らくあなたは信仰心がないから神剣を抜けたのでしょう
本当にありがと…
んなこたぁどーでもいいんだよ
え
飲めぇ!!
一緒に飲めドラゴン!!
私の話を聞けぇ!!
えぇ…
飲んでよぉ…！
う…う…
（泣き上戸）
ポウ
ショウウウウウウウウ
ストッ
!!

おー
ひょい
女の子だったんだー
まぁ…一応は…
ドラゴニュートさんに教えてもらった魔法がこんな形で役立つとは…
あいい飲みっぷり！
どもー
あはは女の子同士飲もうぜー
え
女…!?
えぇ!?
女だ!!
ちょこん
……
もー怒った!!飲むぞ!!徹底的だ!!
はい！
おっぱい大きいな!!揉ませろ!!
はい！
え!?いいの!?

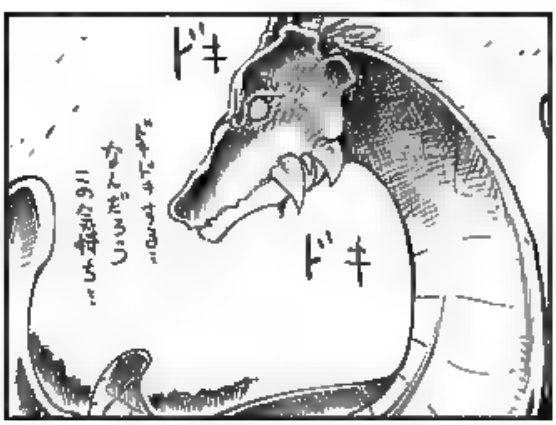
数時間後
らからはぁ!!
世の中って理不尽よ!!
私はぁこんなーに頑張ってんのに全然楽じゃなーい
そーれすよ!!
大人しく終焉させろぉ!!
下っ端の仕事のミスを私にやらせんなぁ!!
あたしゃあたしの仕事があんだぁ!!
そうだぁ!!
「村の娘を差し出せ」とか言ってるロリコン共をドラゴンの一般的イメージにすんのは迷惑だぁ!!
何が王の娘萌えだぁ!!
ハァ…ハァ…
フー…
フー…

あー…
……
なんで私一人
なんだろ…
トホっ
私も一人です…
一人になりました
さっき
これから
どうす…
アテあるの？
私のとこ来る？

…い
いきます
じゃあメイドやって!!

はい？
そうだ…
そこから
私は…
酔った勢いで
濃厚なメイド
談義を始め…
いいメイドって
いうのは単なる女中って
わけじゃないの!!
コックだってメイドだし
ナースだってメイド!!
この場合のナースは
乳母のことで…
なるのにだって講義が
いるんだから!! そこら
メイドカフェとは
自己紹介は
流れるように
すまし…
私は小林!!
グォン…
私は
トールです…
気がついたら
家で寝ていて…
変な夢
だったなぁ…
そして…
ピポポ
んー
ガチャ…

小林さーん
ビール買って
きましたよー
日本酒で
晩酌しちゃった
うわっ!?
やったったー
ただいまです
小林さん!!
実は…
ナハー
おかえり
トール
その時の会話を
よく覚えていない


ドキ
ドキ
ドキドキする…
なんだろう
この気持ち…

親睦会(しんぼくかい)を
開こうと
思うんだ
親睦会？
連休だし
遊びに
いこうよ
シルバーウィーク
予定はある？
いや…
ないよ
どこ
行くの？
うーん
残暑だし
サッパリ
したいねぇ
肩や腰に
負担が無い
場所がいいなぁ

おおー
第33話トールと温泉

小林さん!!
なんですか
ここは!?
恐らく
神聖な
神殿だ
温泉街だよ

思ったより
君って人づきあい
いいよね

…ドラゴンと
いうものは
基本的に
余裕を
持っている

余裕とは？

力だ

我々が人とつきあい
文化にふれるのは
余裕からくる
気まぐれだ

力が強いものほど
余裕が大きくなる

それだけのことだ

おんせん
まんじゅう…

木刀…

気まぐれが
続くのは？

…フン

アハハ

カポーン…
なるほどー
私の世界でも
温泉はありましたが…
この大きさのは
初めてですね
へえー
ゴル
ゴル
……

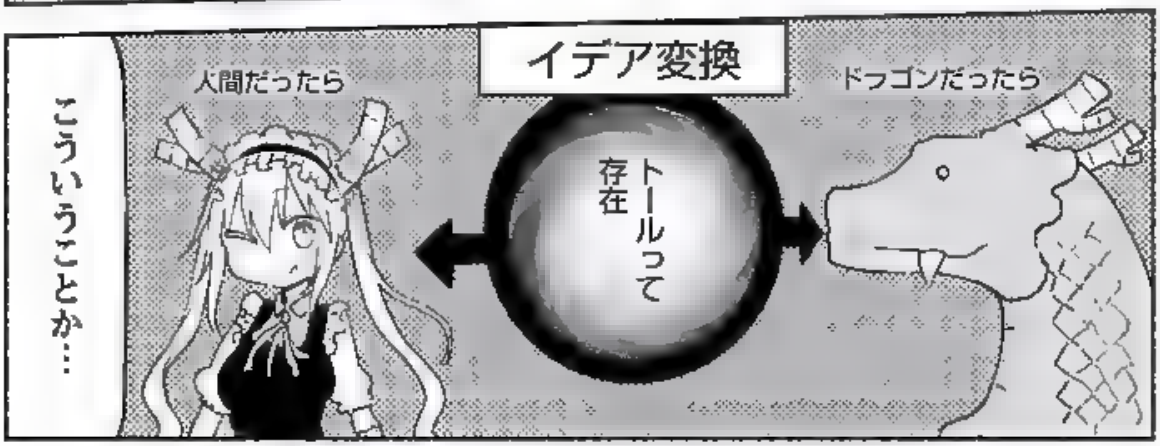
ドクン
温泉玉子
どこで食う？
ポロッ
ポッ

私も25になった
身体的特徴を気にすることは無くなったと思っていた

だがそれとはなし…
そうではなかったのだ…
私 カンナちゃん好きだなー
ギュッ
えぇーッ

聞きたいことあるんだけどいいかな？
トール達ってさ…
なんでそういう姿になったの？
やっぱりさかわいい姿とか意識して変化してるとか？
え？ いや…
素ですけど
僕が説明するよ

トール君が
魔力で作った
人間の肉体
これはイデアに
干渉して
トール君という
存在の形を
ドラゴンから人間へと
切り変えたものだ
イデア？
プラトンの
やつかな…？
じゃあ…


イデア変換
人間だったら
ドラゴンだったら
トールって
存在
こういうことか…

つまり
トール達は…
ドラゴンの中でも
美形でスタイルがいいから
人間の中でもそう
変わるのか…

だから楽…か
もし私がドラゴンに
なったらどんな姿に
なるだろうか

なんで顔がまんまなの
ガオオオ
だから顔!!
でも腰痛からは解放されそうでいい!
ガオオオオ
それ今あんたが食べたいものだよね私の顔もとっていいよ
ガオオオ
変えろ

向こうは
盛りあがって
いるねー
ハハハ
お前は…

何故こんな
親睦会などと
いうものを？
簡単
だよ
この前
何かあった
みたいじゃない

人に害意を抱く
ドラゴンが来た…
そうしたら
お互い少し
ナーバスに
なるかなって
気を遣ったと
いうことか
下らん思惑だ
お前に何の
メリットがある？
目的は何だ

コミュニティだよ
む
面白いコミュがあって維持したいと思う
現代の若者らしいだろ
わかりやすく言え

仲の良い友達グループ見つけて
たまたま僕もその一員になった
そのグループは一緒にいても眺めてても楽しい
わかるだろ？

君もそうなんだから
チッ
俺はお前が嫌いだ滝谷
ツンデレでヤンスねー

第33話／おわり

これのどこが
D
なんだ…
もみ
もみ
はぐらかしの中のD

もうすぐ
授業参観が
あります
御両親が
参加されるか
聞いて下さい
…
カンナさんは
あのお母さんが
くるの？
ん…

私は授業で
いいとこ見せて
いっぱいほめて
もらうんだー
よーしよしよし
カンナさんは
まじめでかわいいから
きっとたくさん喜んで
くれるわよ
楽しみ…

その日…
仕事
第34話 カンナと授業参観
無理

コバヤシー
仕事休んでー
そんな
わけには…
カンナ
小林さんは
死の行進中で
ハデスと対面
しそうなんです
諦めなさい
ヤ
フルフル
コバヤシ
来るのー
ハデス
倒してー
わがまま
言わないん
ですよー
ほら 代わりに
私が行って
あげますから!!
やれやれ
十一

なんで小林さんじゃないと駄目と？
トール様はお姉さんっぽい
コバヤシはお母さんっぽい
お母さんってそんな歳でも…
……
いや…
まぁ…昔のクラスメート…何人か…
お子さんいるらしいけど
とにかく駄目だよ
悪いけどトールでガマンして
私でって
もういい
あカンナ

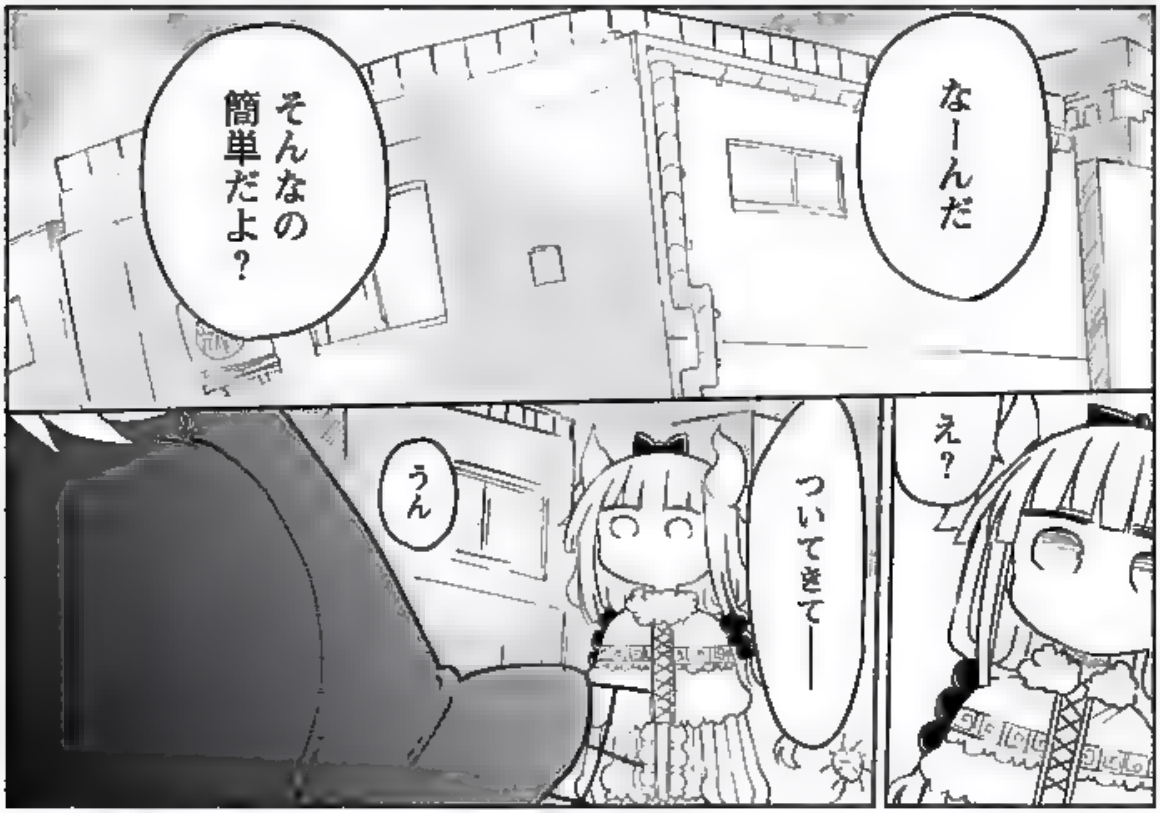
どうしたんでしょうねカンナは
授業参観にそんなに来てほしいのかな？
むくっ
親に自分の学校の様子を見せるだけだよ？
私だって別にカンナちゃんの親ってわけでもないし

でもカンナは小林さんを親のように慕ってる節がありますよ
だからこそこうして甘えているのでしょうし
私 そんな立派な大人じゃないんだけどなぁ

授業参観か…
私の親も来たことはなかったよ
仕事で忙しかったし
家族支える為って私も理解していたし…
私がそれでいいって思ってた分 カンナちゃんの気持ちわかってあげられてないかもね…
…カンナの親は基本放任しています ドラゴンは勝手に強く育つと…
カンナカムイの名までつけた以上は親の庇護もなく強く生きねばならないと教えられてきたのでしょう
そして親の気を引く為いたずらを繰り返しこの世界に飛ばされた

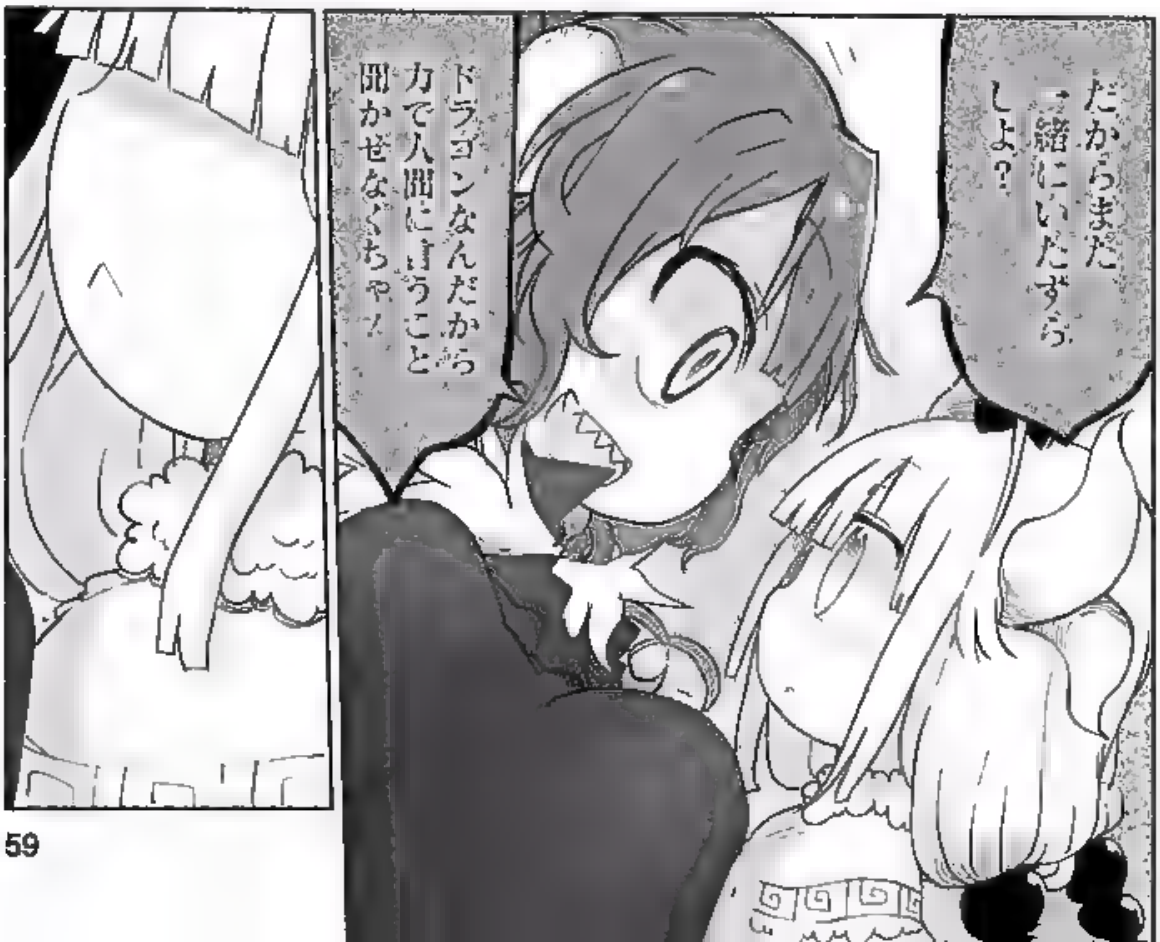
仕事と子供を
天秤にかける
…かぁ
どうしよう…
コバヤシ
怒ったかな…
でも…
あれー
カンナちゃん
だぁ
どうしたの？
スッ…

イルル…
久しぶりだ
元気してた？
またここを壊しに？
いや…しばらくは何もしない
というかできない
この前のので身体ボロボロ
今ボーッとこの世界を眺めてた
そしたらカンナちゃんがきて…
浮かない顔…
何かあった？


なーんだ
そんなの簡単だよ？
え？
ついてきて――
うん

ここ…コバヤシの会社
どうして？
見てたの
カンナちゃんトール…
そして小林という人
ずっと見てた
それでね…授業参観っていうのに小林が行けるようになるにはね…

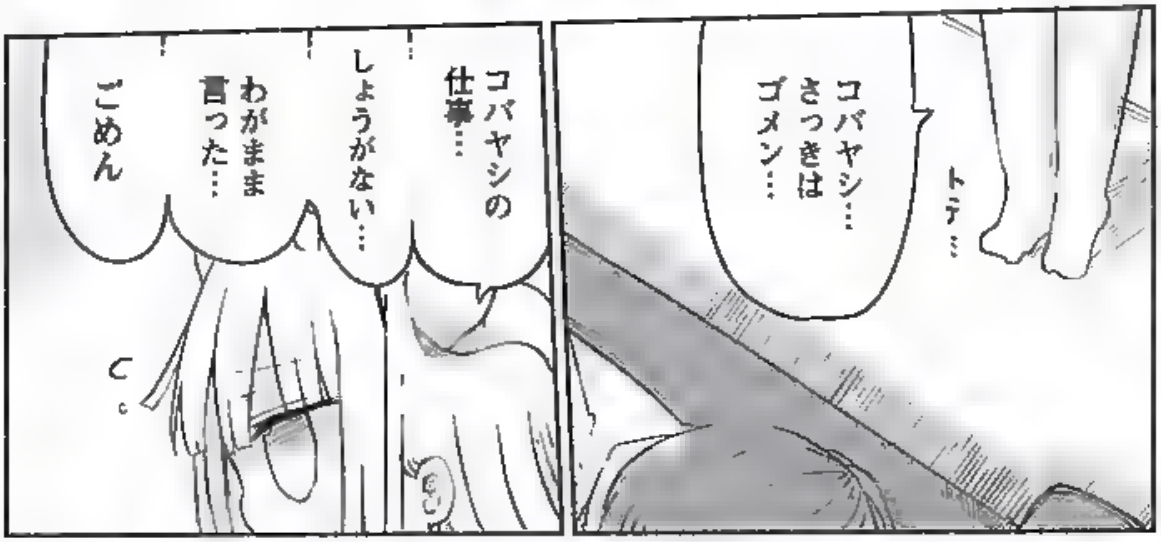
あそこ…
壊しちゃえば
いいんだよ
そしたら仕事も
なくなるよ
小林はきでいれる
それは
駄目
なんで。カンナちゃんの
ほうこと聞いてくれない
小林が悪いんだよ?


だからまだ
一緒にいたずら
しよ?
ドラゴンなんだから
力で人間にほうこと
聞かせなくちゃ!

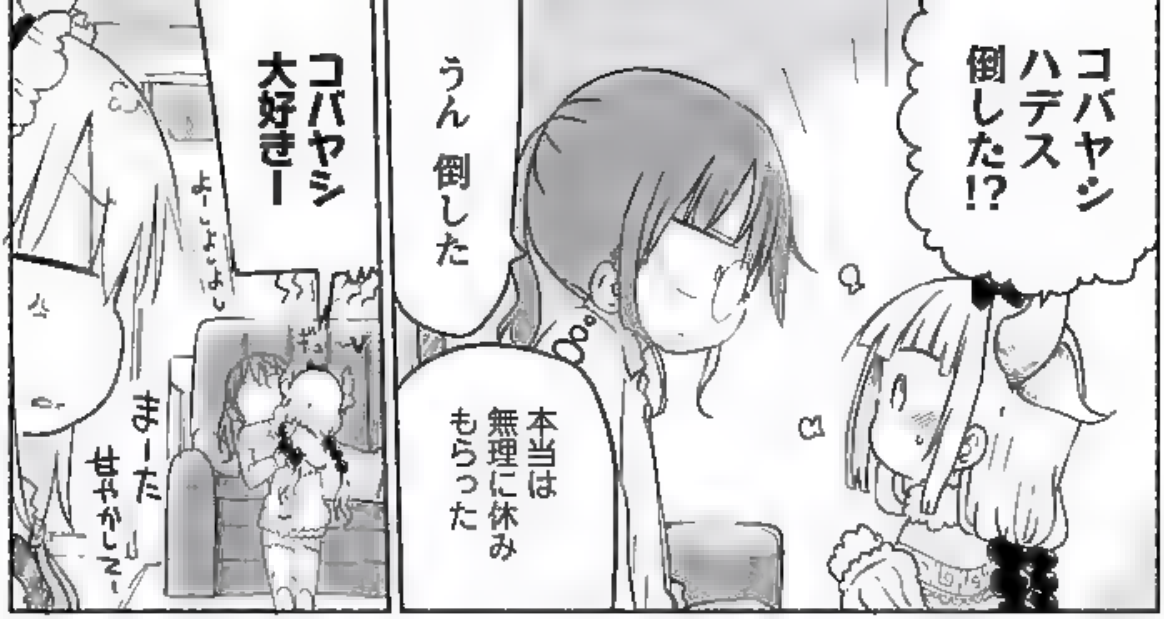
駄ッ…目ッ
!?
私はコバヤシが大好きだから…
そういうのしたらコバヤシは私を嫌いになる…

だから授業参観来てほしかったの
イルルきらい!!
……
それがなんでだかわからない…から

ギィ…


トテ…
コバヤシ…
さっきは
ゴメン…
コバヤシの
仕事…
しょうがない…
わがまま
言った…
ごめん

そんな聞きわけ
よくなっても
罪悪感がある
はい
校外学習 案内
参加
不参加
ペラッ
あ…


コバヤシ
ハデス
倒した!?
うん 倒した
本当は
無理に休み
もらった
コバヤシ
大好きー
よしよし
まーた
甘やかして

当日
では
お母さんへの
感謝の気持ちを
小林さんに読んで
もらいましょう

コバヤシは
とても優しい人で
お酒を飲むと
人が変わってしまうけど
とても優しいです
メイドがとても
大好きなコバヤシが
私も大好きです
ザワ
お酒?
メイド?

次はサタン倒してね
無理

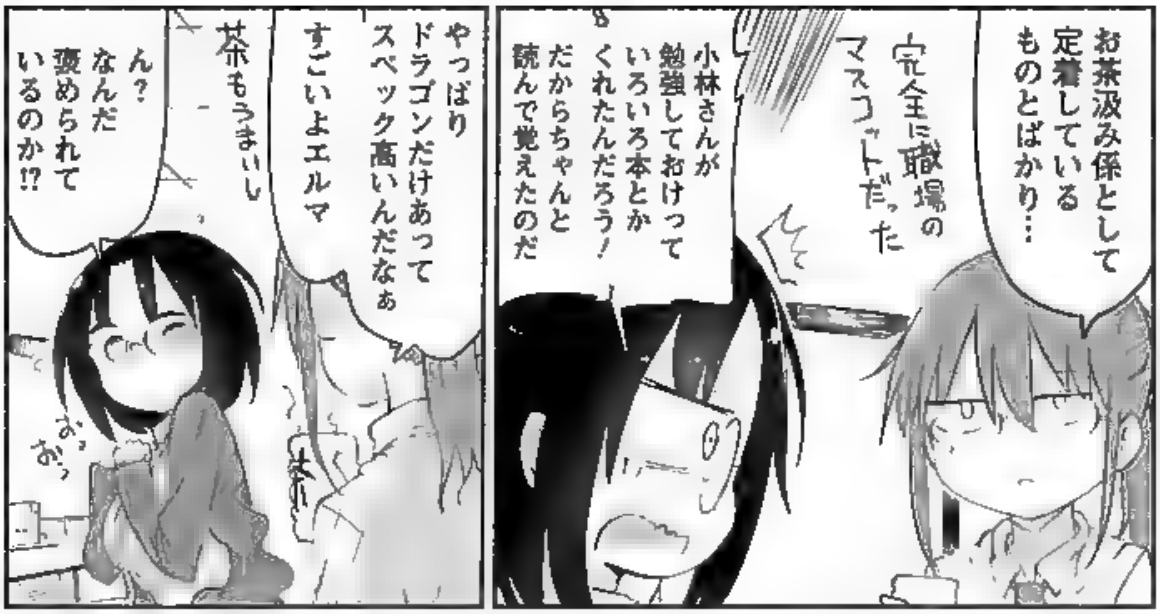
おお？
随分丁寧な
仕事だなー
これ
滝谷君
これやったの
誰さ？
すっげー
綺麗な
コード配列
ん？ いや
僕は
知らないな
この会社は
ものが動けばいいのか
配列 適当な人多いし

小林さん
お茶だ
茶
お ありがと
エルマ
なんだ
私のやったとこ
眺めて…
何か
間違って
いたか？
いや逆でさ
感心していた
ところ…
ん？

今なんて言った？
私がやった
……
なんだ
この空気は

第35話 エルマと会社

私だって
成長
するのだ


お茶汲み係として
定着している
ものとばかり…
完全に職場の
マスコットだった
小林さんが
勉強しておけって
いろいろ本とか
くれたんだろう！
だからちゃんと
読んで覚えたのだ
やっぱり
ドラゴンだけあって
スペック高いんだなぁ
すごいよエルマ
茶もうまいし
ん？
なんだ
褒められて
いるのか!?

そうだよ
これで一人分
戦力できたって
ことになるし！
えらいぞエルマ！
YEEE
ふふふー
まお私に全部
任せておけ！
じゃあ早速
これ頼むよ
エルマ！
パサ
うむ！
これも！
あ あと
これも!!
ドドドドド
うむ…
うむ？

これもこれも
これもこれも
これもこれも
どどどど
どどどど
わあああああ

頼みすぎだぞ小林さん！
いやいや…
これが本来の君の仕事量
え？
君がお茶汲みしていた時君の分の仕事までしていたのは小林さん

小林さんはその仕事の倍の量既に持ってるからね自発的に
そ そうなのか
それってすごくないか滝谷さん
そうだねーうちの仕事の柱だからね
まぁ僕も同じ程度の量持ってるけど

小林さんは
柱…
この事業部が
立ち上がって以来
ずっといるから
最古参になるね
それで翌年に
僕が新卒で…
柱…
決めたぞ
小林さん！
あなたに決闘を
申し込む！
え…
勝負内容は
どちらがより
働けるかだ！
いざ
尋常に
勝負!!
ズビシィ
えぇぇぇぇぇぇ

なんで
急に…
仕事
増やしすぎて
怒ったのかな…

エルマは
そういう奴
なんですよ！
うーん絡まれてる
トールの気持ちが
少しわかったかな

毎回 変な勝負を
仕掛けてくるん
ですよね
力比べは
もちろん
どちらの
しっぽが
長いかとか
早食い競争とか
旅人の服をどちらが
脱がせられるか
なんて勝負も
北風と
太陽かよ

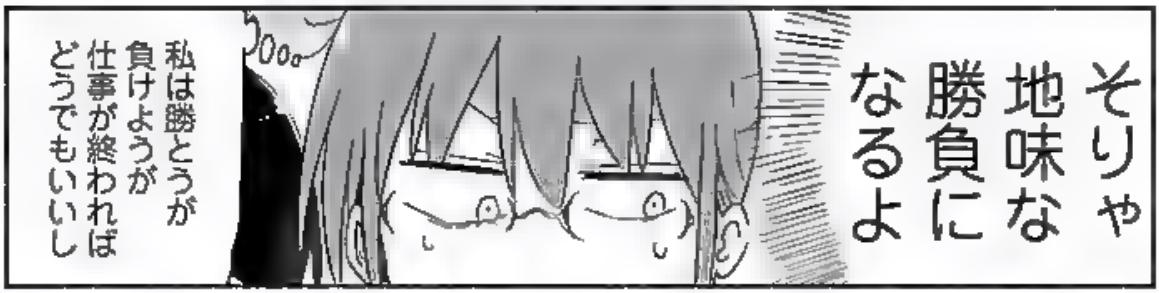
へーじゃあ
毎回そうやって
遊んでたんだ
仲いいじゃん
よくない
ですよー！
本来なら
殺しあう
間柄です
小林さんも
気をつけて
くださいよー
混沌勢みたいな
目つきをしてるん
ですから
いえ そんな
ひどいかな
私の目つき

翌日
よーし
逃げずに
よく来たな
小林さん！
ビ
ビビ
いや
有給取ろうとも
考えたけどさ
勝負する前に
これで手を
打たない？
ガサッ
!?
駅中
限定スイーツの
あまとろプリンで
ございます
おおおおおお
おおおおおお
いつもの
エルマなら
これでいいはず
いや！
いらない！
これは
勝ったら
もらう!!
そーきたかー

この まだ手がついてない仕事を多くこなした方の勝ちだよ
よし！
……
ドッサリ
手がついてないっていってももう担当ついてるよね？担当誰？
僕だよ
ッ！

僕はこれから有給でファフ君とアキバ巡りさ！それじゃあね！
なんて野郎だいつもお疲れ様です
怒ってるのか労わっているのかわからん受け答えだ

じゃあ始めようかいつもより量も多いし急ぐよ
おおう
と…いってもね

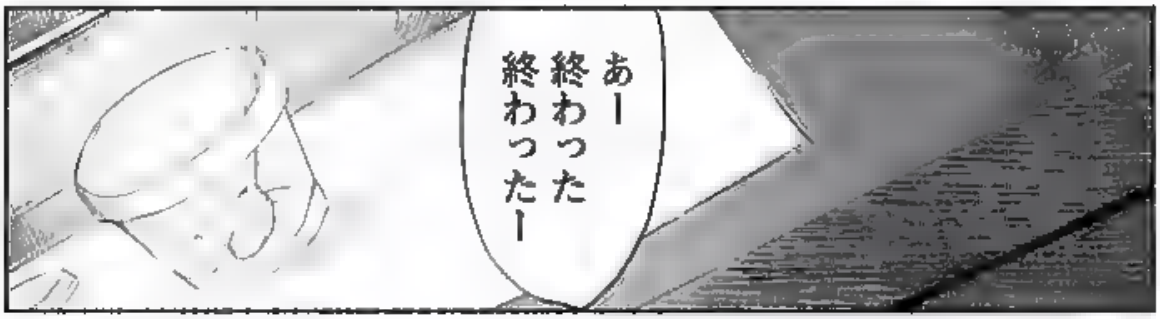

そりゃ地味な勝負になるよ
私は勝とうが負けようが仕事が終われば
どうでもいいし

お昼休みだー
いつものラーメン屋行くかー
俺は社食でいいわー

ほらエルマも行こう
ガタ
行かない今のうちに進める
…ちっぽけな人間の私に勝っても嬉しくなんてないでしょ？
怒らせちゃったなら謝るからさ
…怒ってなどいない
それにちっぽけなんて言うな
！

柱にもなるな
柱？
柱だ…
私は向こうの
世界に居たとき
柱になった人間を
多く見てきた
どういうこと？
犠牲になることで
人々を支えると
いうものだ
人柱？
調和勢の竜は
人々を助けたが
そのために
人柱を望んだ
仲間も多くいた
人柱になり
死んでいく
人々…
私はそれを見る
のが嫌だった
随分と重たい
話になってきたな
だから小林さんも
自分を犠牲にして
働くのはやめて
ほしいんだ
私が代わりに
人々を導くから
……
エルマ
ちょっと
こっちに
顔寄せて
目つぶって
な 何だ？
小林さんには
トールがいる
のだろう？
まぁ私も
求めてくれるなら
やぶさかでは
ないが

ていっ
パチ
あたっ
な 何をするのだー
おせっかいで余計なお世話っていうんだよ それ
エルマは今前居たところとは違う場所にいて違う景色を見てるならなんでも同じと思わないの
むう
現代日本に人柱なんてないから
そ そうか
あと先輩にも面子があるので仕事を奪うな
勝負なんてもうやめにしよ？ね？
しゅん
…うん
気使ってくれたのは嬉しかったよありがとうエルマ
トン…
…うん


あー
終わった
終わったー

じゃあエルマ！
今日は特別に
飲みに連れて
いってあげるよ
飲み？ ああ
いつも小林さんと
滝谷さんが楽しそうに
やってるやつか
お酒ぐびぐび飲んで
仕事疲れを
ぶっとばそー!!
うむ
楽しみだ

店には先に
滝谷君が
スタンバッてる
みたい
皆で飲めば
楽しいだろうな
そうそう
酒の勢いで
話せる話も
あるだろうから
この後めちゃくちゃ
メイド談義した

帰りたい…

あーすっかり
遅くなっちゃった
終電
残ってる
かなー
場合によっては
トールに
迎えにきて
もらわないと…
小林(こばやし)という
人間…
誰？
あ…
あんた…
！

イルル…
第36話 イルルと小林さん
何の用？
聞きたいことがある

なんでお前は
ドラゴンと
一緒に暮らせる？
それは
私じゃなくて
トールが
合わせてる
からじゃない？
恐ろしくは
ないのか？
そりゃあんなに
かわいく
なられちゃねー…
殺れよ…
つまり…
性欲か？
ん？
どたぽ

お前は人の姿のトールに欲情している
だから平気？
んんん～？
違う違う何言ってんのさ！
強く否定した…怪しい…
だーかーら！
なら…
プチュ
!?
たぽ。
これを見ろ…
トラトラ
ふふ…
なにこれすげぇ…

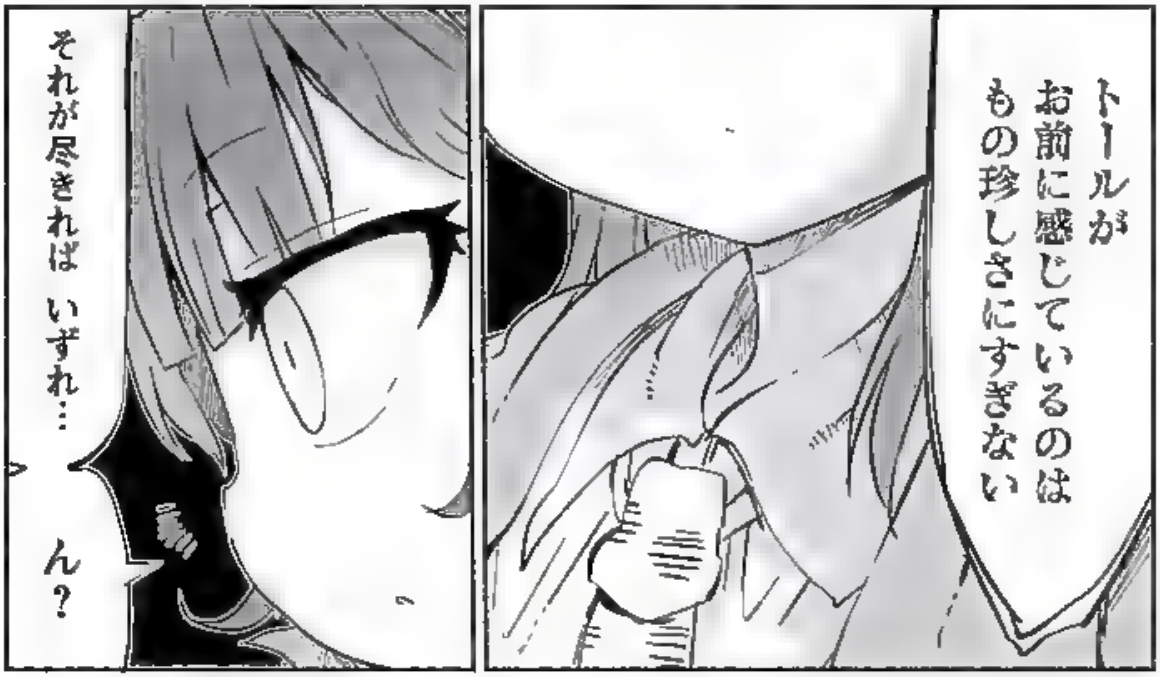
どうだ？
お前も所詮は人間…
性欲には逆らえまい？
さぁ
浅ましい人間の男の本性を曝け出せ
いいのだぞ…
甘えてくれば一時性欲のはけ口になってやる
むに〜〜
…あ

あたしは女だ!!
ベチー
あたぁ!?
ふざけんな！
毎日その脂肪と若さのパワーに怨嗟の貴め苦を与えとるわ！
はっ！
ドラゴンの目大したことねー!!
お お前え…なんかんなとこ…だな！

ってあ〜…
終電終わっちゃうじゃんか
じゃあね！先急ぐから!!
ピュ
あ待て!!
駆け込み乗車はご遠慮下さい
ガタン…ゴトン…
何なの？まだ暴れ足りないの？
いや…
お前が認められない

……
ドラゴンが
人と相容れる
わけがない

互いに居れば
違いに苦しみ…
苦しみが続けば
種を憎む
尊敬は
嫉妬に変わり
いずれは傷を
生み出していく…


トールが
お前に感じているのは
もの珍しさにすぎない
それが尽きれば いずれ…
ん？

寝るなぁーッ!?
スー
スー
嘘だ！
あ 大丈夫
大丈夫
聞いてた
聞いてた
なんか
種族の差とか
そんな話でしょ
意識を
改めろ！
私のこと
認められないん
でしょ？
そんな人間に
何か納得させたい
ことでもあるの？
じゃあ さっきの
言葉を拝借して
言わせてもらうと…
？

違いを楽しみ
楽しみが続けば
種を好む
尊敬には
信頼が加わり
絆を生み出していく

私がトールとの
生活で感じている
ことって
それかなぁって

都合のいい
解釈だ！

実際に悲劇もある
綺麗な言葉で
ごまかしている
だけだ！

ガタン
コトン

そうだね

争ったり傷も
できるんだけど
それを見て見ぬ
ふりをしたり
汚いもので埋めても
かまわない

気持ちなんて
正しく把握してなくても
自分なりに合わせてきたし
なんとかやっていく

私 そういう人

そういう人間

それが人間の考え方？
いや私こと小林の考え方
イルルはドラゴンの考え方とイルルの考え方分かれてないの？

分ける必要なんかない同じだ
そう

でもその「ドラゴンとしての考え方」を考えたドラゴンは…
イルルとは違うと思うな
――ッ
対話を求めた時点でガチじゃないよね…
この子はきっとそう教えられたからそう生きてるんだろうな
……
スゥ…

スー
スー
やっぱり…
やっぱり
性欲だ
お前が
女だから
いけない

ん？
着いた…
イルルは…
どっか
行ったか…
ぶる
冷えると
近くなるなぁ…
……
へ？

ガチャ
……
よし…みんな寝てるな…
しーん
まったくもー
どうすんだこれ…
これ!!
お父さん以外で見るのが自分のとは…
あ 小林(こばやし)さーん おかえりなさい!!
!!

もー遅くなるなら
言ってくださいよ
ひた
ひた
トールは小林さんの
残り湯に入り
たかったです
？
どうしました
小林さん
あうん
ごめん
顔まっか
ですよ
へ？
カアアアアアア…

第37話
トールとあれ

風邪ですかね？
ピト
だっ…大丈夫だよ!!
はぁ
や…やばいなんでこんなトールにドキドキするんだ…
ドキ
と…トールって…
ドキ
こんなにかわいかったっけ
うぅ…
とにかく服着て
？
はい

くくく…
小林…お前が男になってしまえばすぐにその本性を現すはずだ
さぁ…見せてみろ

人間の浅さを…
とか思ってんだろーなー

予測を立てよう
イルルが私に魔法でも使ってアレをつけた
イルルはトールとの戦いで力があまり残ってない
時間経過で元に戻る？
ポスッ
イルルが私に何を望んでいるか知らないけど…
平常心を保つよ私は

!!
ぴとぉ…
朝か…
ん？ 何か
あったかい
ぞ…
ピ
もぞっ…

朝…寒いと
思って…
コバヤシ
あたためる
マジか
ふつふつ
私はもう
起きるから
じゃ 私もう少し
寝る…
朝から
なんだこれ…
しかも何か
下のアレが…
朝にアレしちゃう
っていうアレか？

しかし私は
男の身体になった
っていうのに全然
見た目に変化が
ないな…
わしゃ
わしゃ
周りも全然
気づいて
ないし…
気づいてほしい
わけじゃないけど

トールにこれ
治してもらう
ことはできる
のかな…
いやでも…
え!?
小林さんに
アレが!?
じゃあ
しましょう!!
種族保存の
営みを!!
ペロン
やばいな
ッ…

今日は休日
だが…さて
どうする…
THE
JOKER
久しぶりに
日朝アニメでも
見るかー
おっ

人気だな
日朝アニメ
このタイツを
着た者達の
戦い方が
面白くて…
うん…
これなら
何の心配も…
何かやたら
寄ってくるな
ぴと
むにっ
いつもこんな
だったっけ…
密着されてる
だけでも
アレが…
でもこの程度…
女の子同士 普通だし
嫌がるわけにも…

た…耐えるぞ
わけのわからん男の性欲とやらに支配されてたまるか
それから
コバヤシサーン
意味なく抱きつくな!!
私は何とか竜肉の誘惑を回避し…
じゃれつかないでぇ〜〜
ゴロゴロ
アレを使うこともなく
コバヤシサーン
抱きつくなってんだろ!!
時間が過ぎていった…
一緒にー
ダメェ!!
スキンシップこんな激しかったっけ…
……

よかったー
小さく
なってきた

やっぱイルルは
トールとの戦いで
弱ってたんだ
……
…ふと
イルルのこと
考えた…
弱ってる時に
なけなしの力で
私にこんな
ことを…？
そんなに
人間が信用
できないのかな

トールのいた世界のドラゴンの勢力…混沌勢だっけ？
人間を憎んでて子供にもそう教えてる…
イルルはそう育てられてそう生きてきてそういう心になって…
トールと仲のいい私の存在は…イルルの在り方を否定してしまった…こんな感じか
や…やるせないなあの子でも私には何もできないしなぁ
ゴハンできましたよー
ん
キィ…
はぁ…もうアレのことなんてどうでも…
もぐもぐ
THE JoKER
!?

ふっふっふっ…
この感じ前も…
ホレ薬(ヤク)!?
途中から気づいてましたよー
小林さんは今アレがついている!!
イルルにやられたんですね…治してあげます
でもその前に…
にゃは――!!
チャンスを活かすトールです!!
小林さん 心と心でつながった後は身体ですよー
さぁ全てをトールに委(ゆだ)ねて…
ぬぁ
しゅる
しゅる
THE JoKER
パサッ

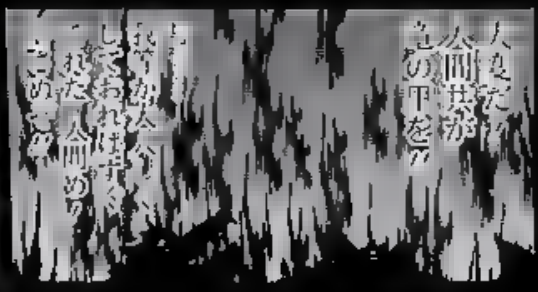
…って
え!? なんか
すごく冷めてる!?
メイド服脱いだ…
コスプレもので
服を脱いだ様を
見た気分
ないわー

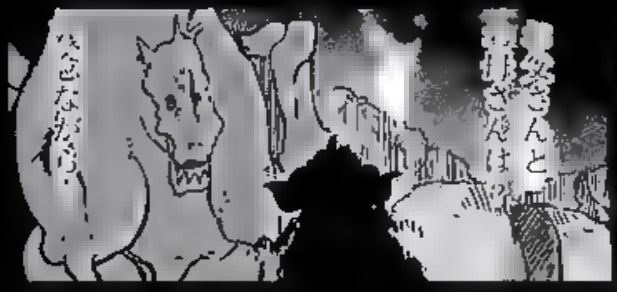
トール…
男視点で
メイドの良さ
から語るね…
ぬぁ〜〜〜ン
かくして
私の身体は
時間経過に
よって元に
戻った

そして
よし
ポン ポン
乗り切ったぞ…
次は
どうするんだ?
イルル

イルル…
イルル…
また人間と遊んでいたのか…

うん！人間優しくて大好き！
そうか…我等もそろそろ共存を考えてもいいのかもしれないなぁ

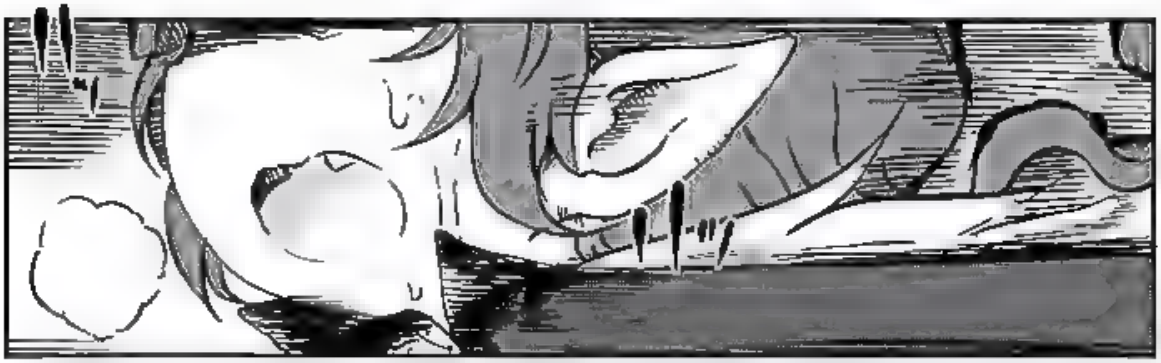

大昔、人間共が人の平を…
もう人間と遊んじゃ駄目なの…？

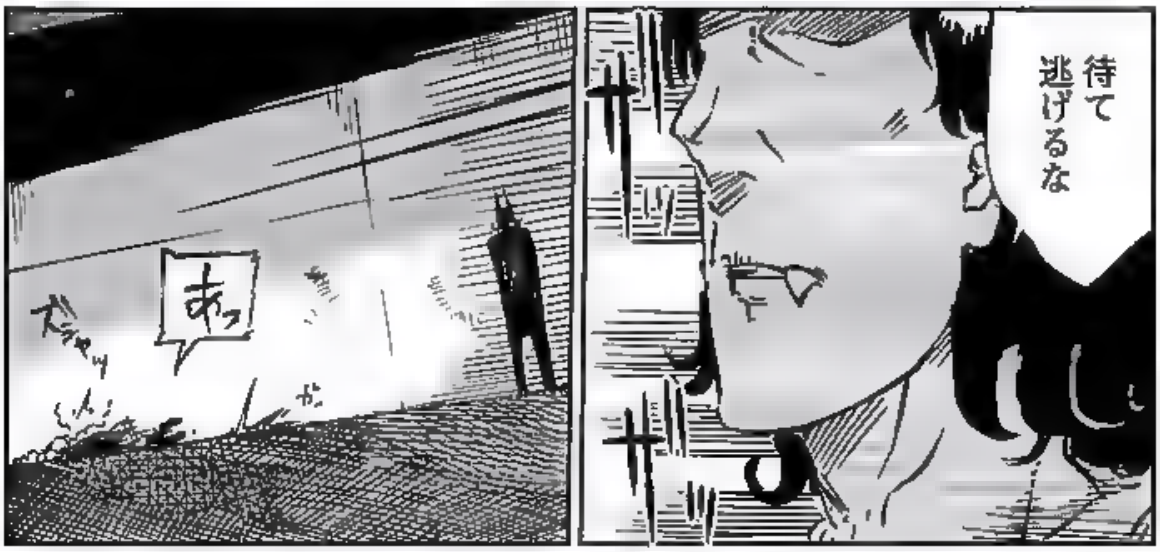

父さんと母さんは…
人間なんかに…

当たり前だ！お前の両親を奪ったのは人間なのだぞ
-から戦いの歴史を教えねばならんな

人間は敵だ！わかりあうことなどできはしない

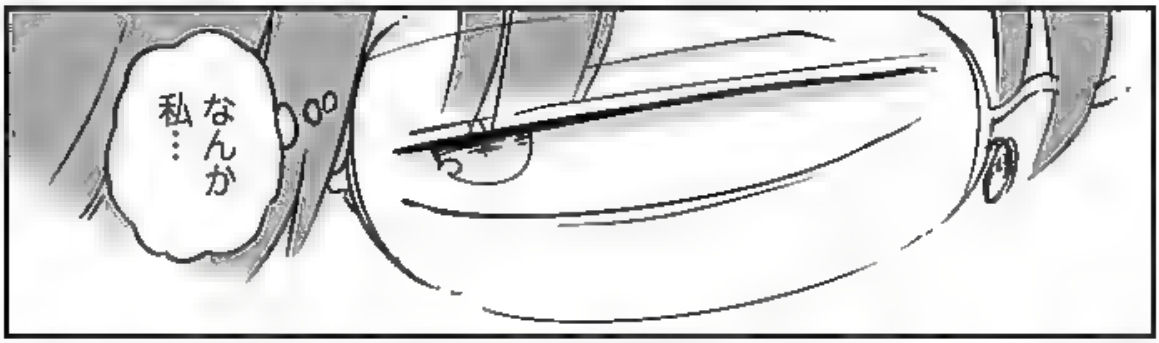
第38話 小林さんとイルル

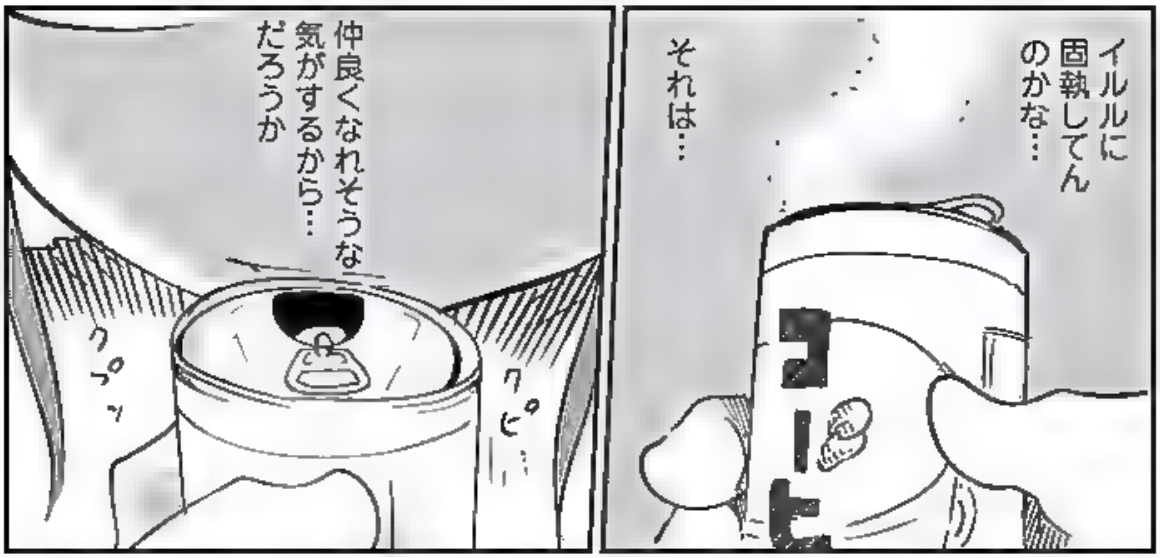



待て
逃げるな
ガッ

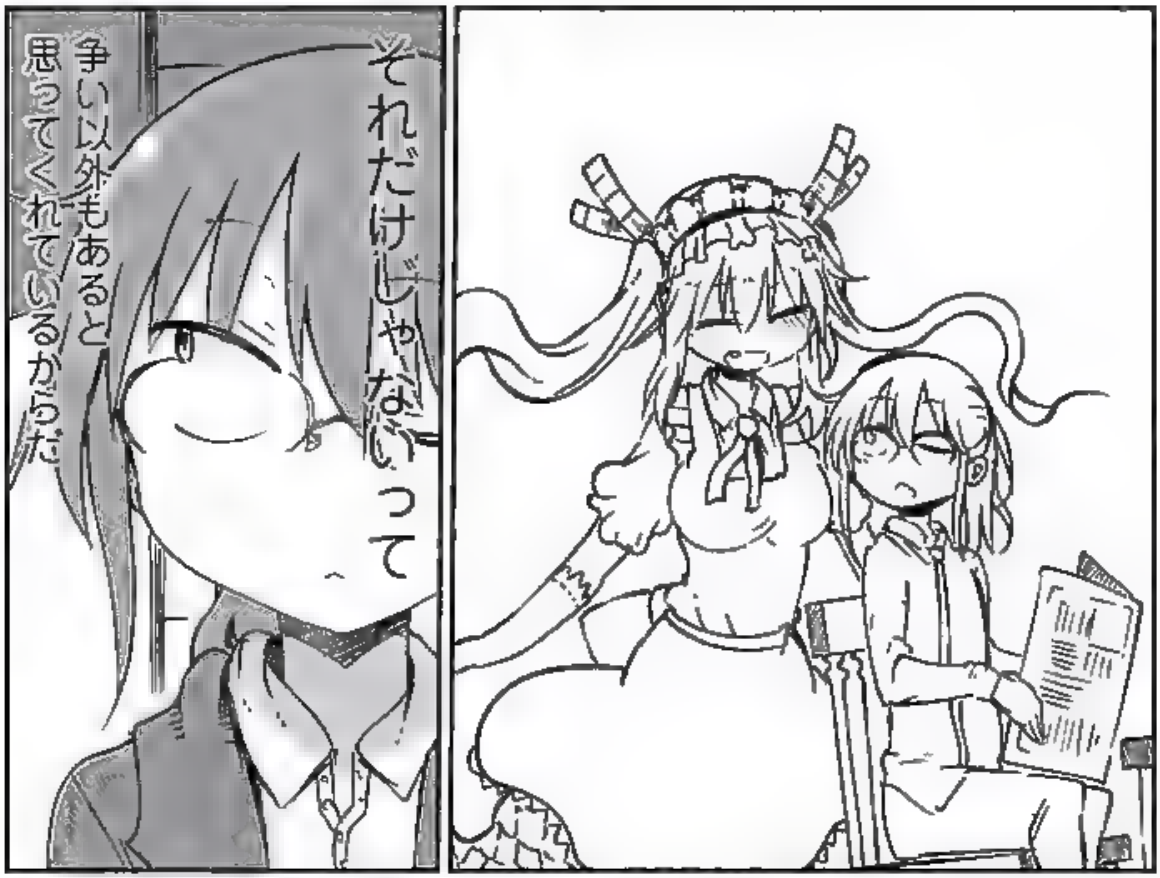
私を追って来たか
調和勢！
屠竜派のクレメネだ
死んだ時 異界の審判で
そう報告しろ
手柄になる
くっ

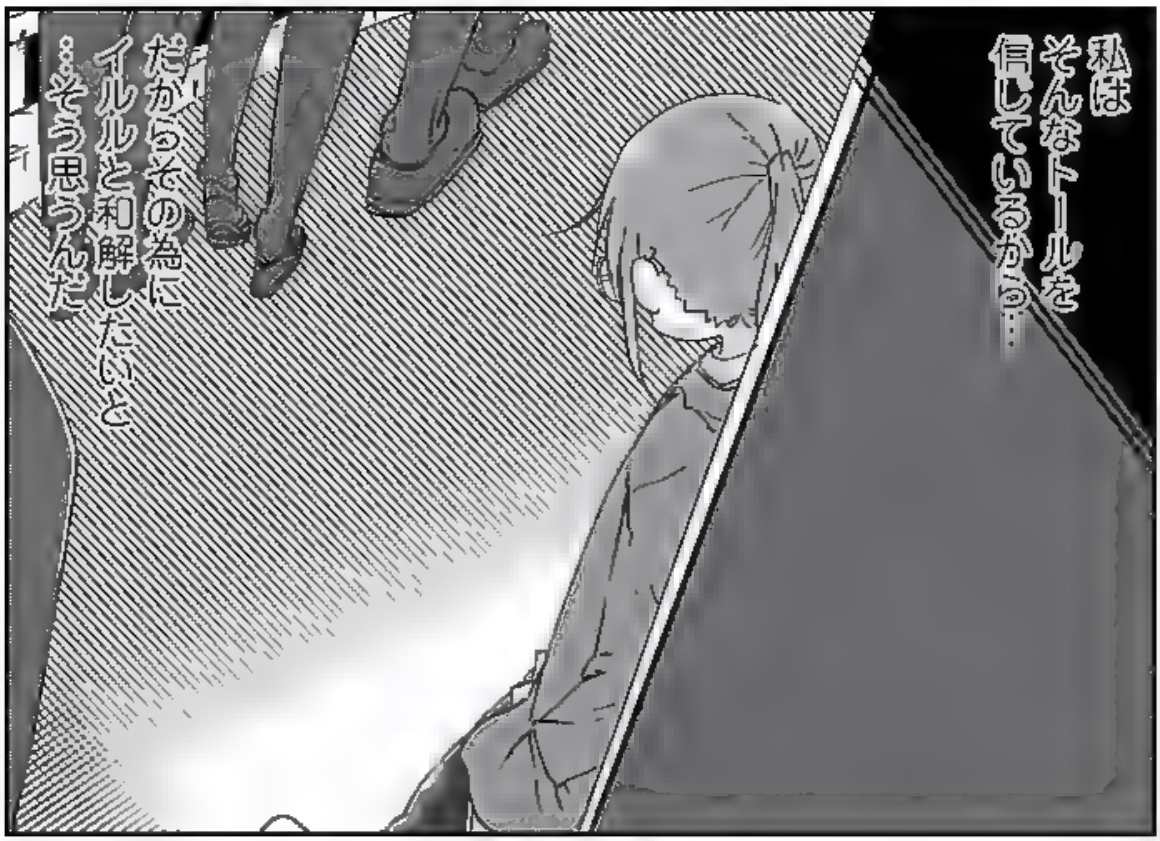
あ マヨネーズ 切れてますね
トールは料理中だし 私が買ってくるよ
ぺっ
え？ 悪いですよー 48のメイド技「分身」で 買いに行きますから
外の空気を 吸いたい気分なの
メイド関係ねー
さて…
私が一人の 時にいつも イルルは来るから 待ってれば 会えるのかな？


なんか
私…


イルルに
固執してん
のかな…
それは…
ゴーヒ
仲良くなれそうな
気がするから…
だろうか
クピッ
クピッ

これまで会った
異界の方々…
皆 友好的だった…
諍いや
それによる
悲劇を経験
して生きている
空気があるのに
それでも人と
関わっていけるのは…


それだけじゃないって
争い以外もあると
思ってくれているからだ


私は
そんなトールを
信じているから…
だからその為に
イルルと和解したいと
…そう思うんだ

イルル…
来ないな
案外
人通りが少ない
こっちの方
とか…
イルル
怪我…
してるの？
気絶してる…
一体 誰が
こんなことを…

むっ
見られたか…
!?
この世界の人間よ…
我はその異界の害竜を
屠る為にまいった者だ
速やかにこの場を
離れよ
このまま立ち去り
忘れることだ
何だ
こいつ…
イルルを殺しに
来たってこと？
大人が子供
殺そうっての？
そうだ
その者は混沌
人には害しか
与えぬ邪竜
我はこの世界を
救う為にやってきた
調和の者だ
……そう
ブチッ
そういう
ことなら…

ブーーーーーーーー
オラァ!!
なんだこの不快な騒音は!?くうううう
おっしゃあああ防犯ブザーパワアアアアア
今のうちに逃げ…
クソ重ッ!!
その胸にくっついたの 取れないのか!?
もしくは私に渡せ!!
逃げられた…?
何故 人が…

ん…
んん…
あ 気がついた？
あ…
大丈夫？
外傷はなんか
すぐ治ってる
みたいだけど…
ドラゴンって
やっぱすげーわ
な なんで
助けた？
助かったって
いえるの？
近くに隠れやすい
山があってよかった
きっとあいつ
まだ追って
くるんじゃない？
……
…別にいい
え？
戦って敗れるのなら
それもまた運命だ

じゃあ私に
助けられたのも
運命でいいの？
う…
イルルさ…
私にぶつけたい
気持ちでも
あるの？
絡み方がさ…
何かそんな
感じ
私にヘイトが
あるならタゲ
取るよ？
メイン盾したげる
私は…
人間と共存する
竜なんて認めない
人間と竜が
うまくいく
はずがない
それ前
聞いたよ
だってうまく
いってしまっていたら
私は今まで
どうして…

本当は…
上位の存在であるドラゴンが人間と慣れ合うなんて恥
本当はね…
いろんな悲劇だって起こった和解はありえない
もっと…
人間は敵だ
もっとね…
本当は…
(ちがう)
…
もっと遊んでいたかったんだ!!

誰も許してくれなかった…
あの子とあの子は悪くないのに…
……そっか
スッ
じゃあさ
!
今度一緒に遊ぼっか

私等
いろいろ
やってんだよ
ドッジボールしたり
コミケいったり
温泉いったりさ
まぁバトルみたいな
じゃれあいは勘弁
なんだけどさ

お お前は
私を騙している
都合のいいことを
言って丸め込もうと
している
そうだよ？
え…

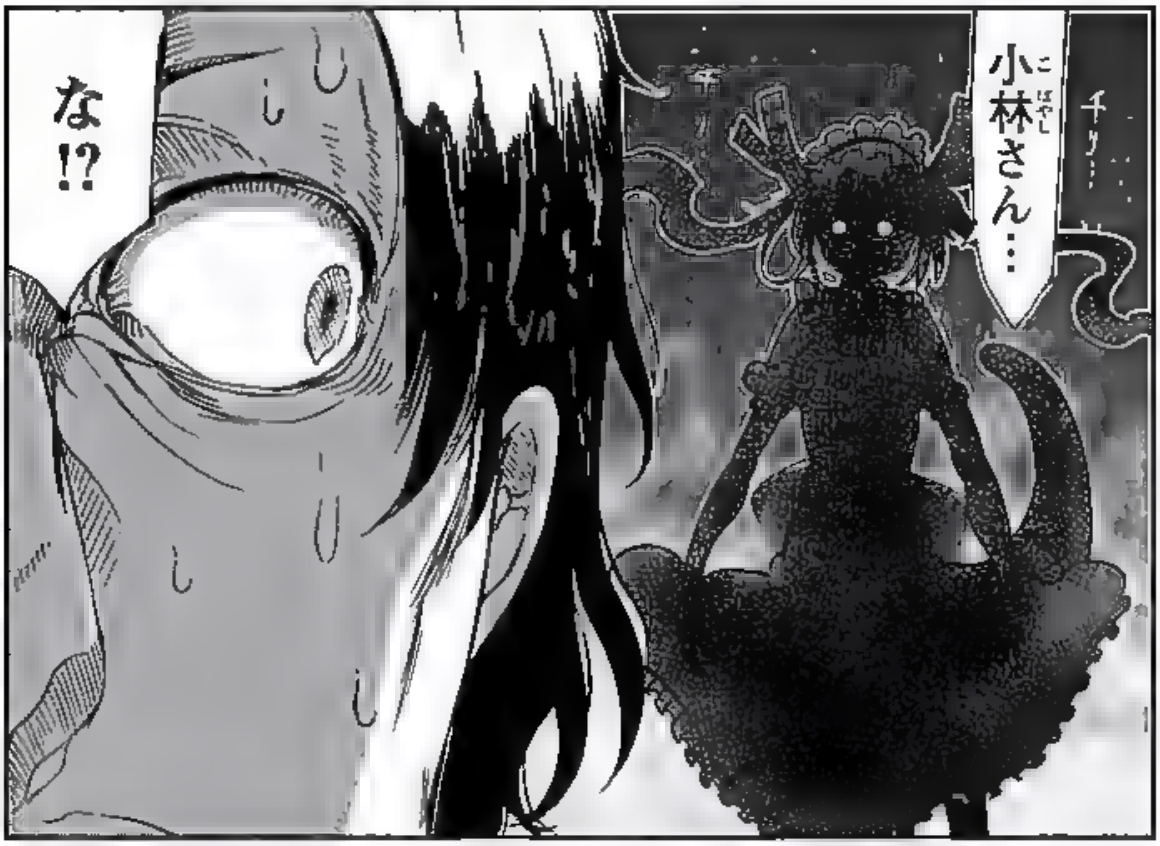
凶暴で邪悪な
混沌の竜を
甘言で懐柔して
無害にしようと
してる
今までの教えを
信じる？
私に
騙される？
ズキ

私は…
そこまでだ

まさか
人間もグルだったとはな…
貴様も駆除する！
できるの？
ルールあるんでしょ？
っは
形骸化したルールだ
あくまで竜同士のルールであり人間に適応されることはない
命乞いをするなら人柱でも立てることだな！
ごりやドールのとーちゃんが本格的に優しかったみたいだな…
でも…
もう一度命張らせてもらおうか…
どう逃げよう…
ドラゴンを守ろうとする人間だと？
混沌に与するだけあって…
いいだろう

ぐわっ
あっ
すぐには
殺さん
竜の偉大さを
知りながら
死んでゆけ
偉大さね…
超痛ぇ
死ぬっレ!!
ピンきりだなぁ
ドラゴン
やめろ…
今度はドラゴンが
人間を庇う…
お笑いだな

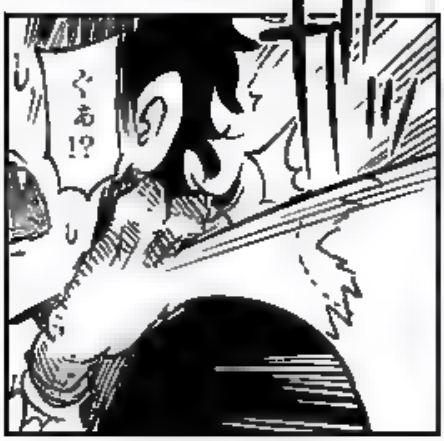
弱ってなければ
本来勝てる相手でも
ないんだがな
何があったか
知らんが神に
感謝しよう
あ
ビキ
ビキッ
それ 神はNGワード
何？
遅いよ
ゴゴゴゴ

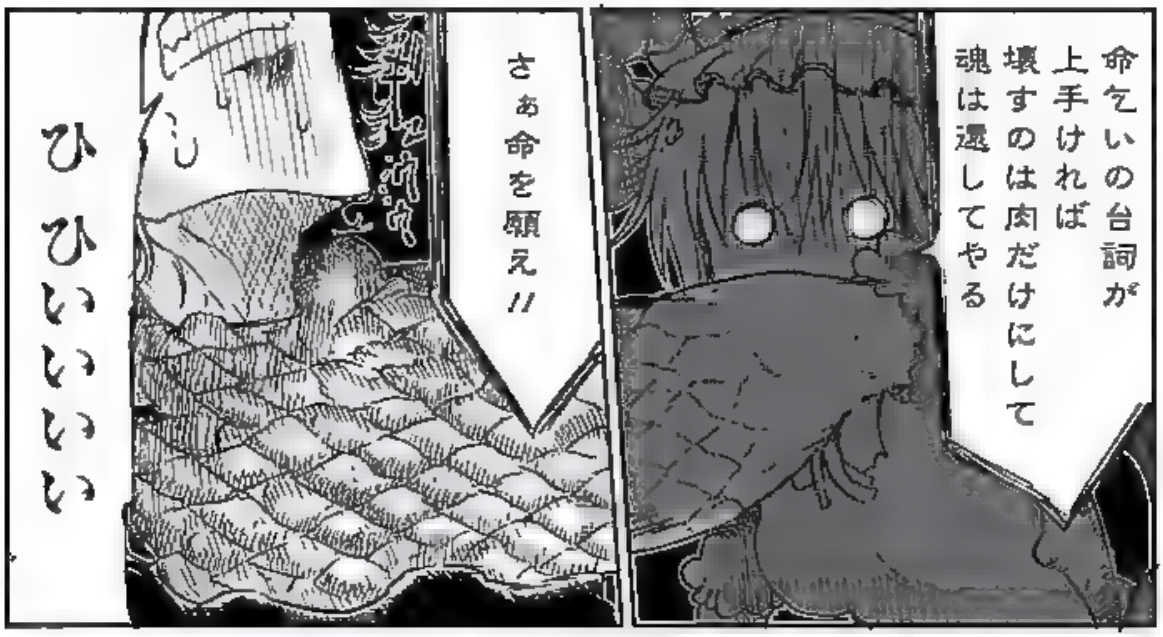

チリ…
小林さん…
な!?

お前は…!?
何故こんな
ところに…!?

小林さん…
その怪我は…
もしかして
こいつに?

き 貴様が
いたとて
増援を呼べば
済むことだ!!
至急エルマ様
を…!!


ぐあ!?


命乞いの台詞が
上手ければ
壊すのは肉だけにして
魂は還してやる
さぁ命を願え!!
ひ ひいいいい

ヒュッ
ギャッ
ベキッ
シャグシャ
メリ。。。

こ 殺しちゃったの?
いえ…こちらの記憶だけ
飛ばして元の世界に戻しました
殺して
行方不明者を
他の仲間が捜しに
きても困るので
ちょっとこうしたら
まいたけど
そ そう

よかった…
これで…
イルルも…
ぐらり…
あれ…
安心したら…
なんか…
あ！
ブシー
あぁぁー
わー!?
小林さん!!
血を止めないとぉ!!
待っててください
ドラゴンの唾液には
止血効果が…!!
ペロ…
あんたそれ
舐めたいだけ
だろ!?
ペロッ!?

社会人とは
こうあるべきと
思ったことが
あった…

ただ真面目に働き
いろいろな決まりごとを
きっちりと守り

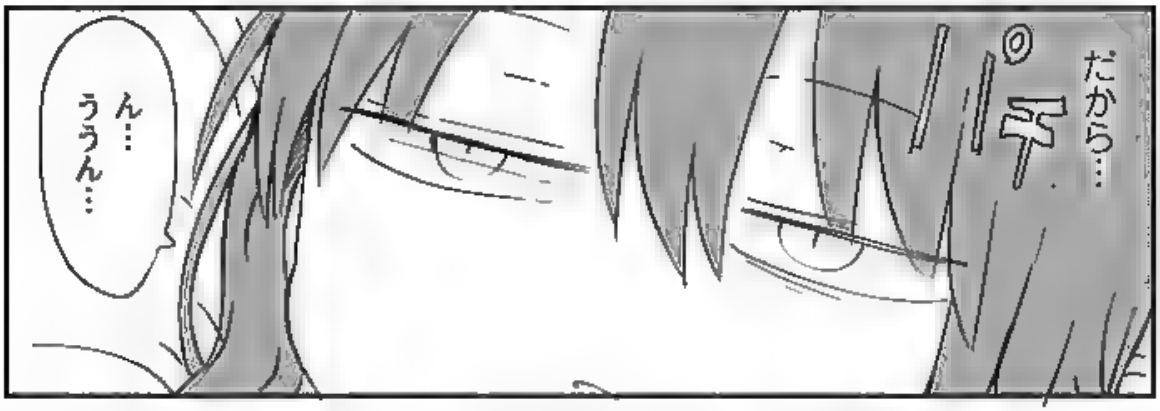
プライベートよりも
会社に傾倒していくこと

同じ会社としての
仲間は増えたかも
しれないが
プライベートを優先して
こなかった私には友達は
いなくなっていた

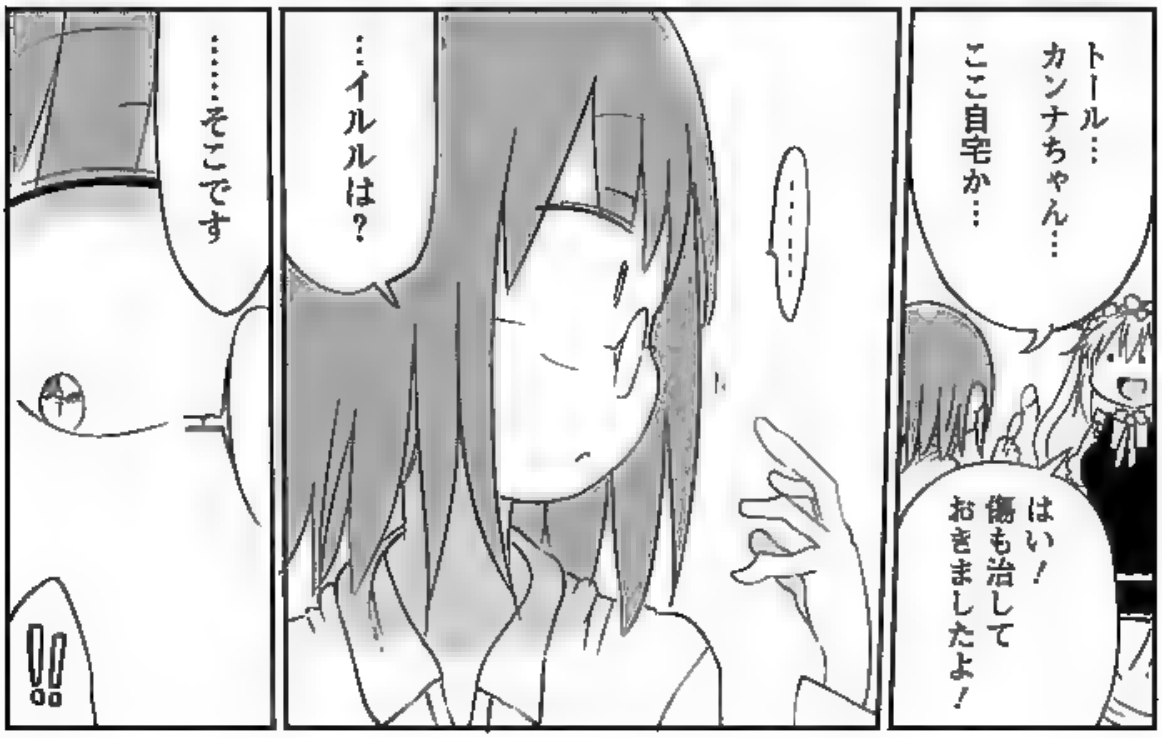
自分の社会人としての
役割を全うすることを
義務として考える
そう教えられてきたからだ

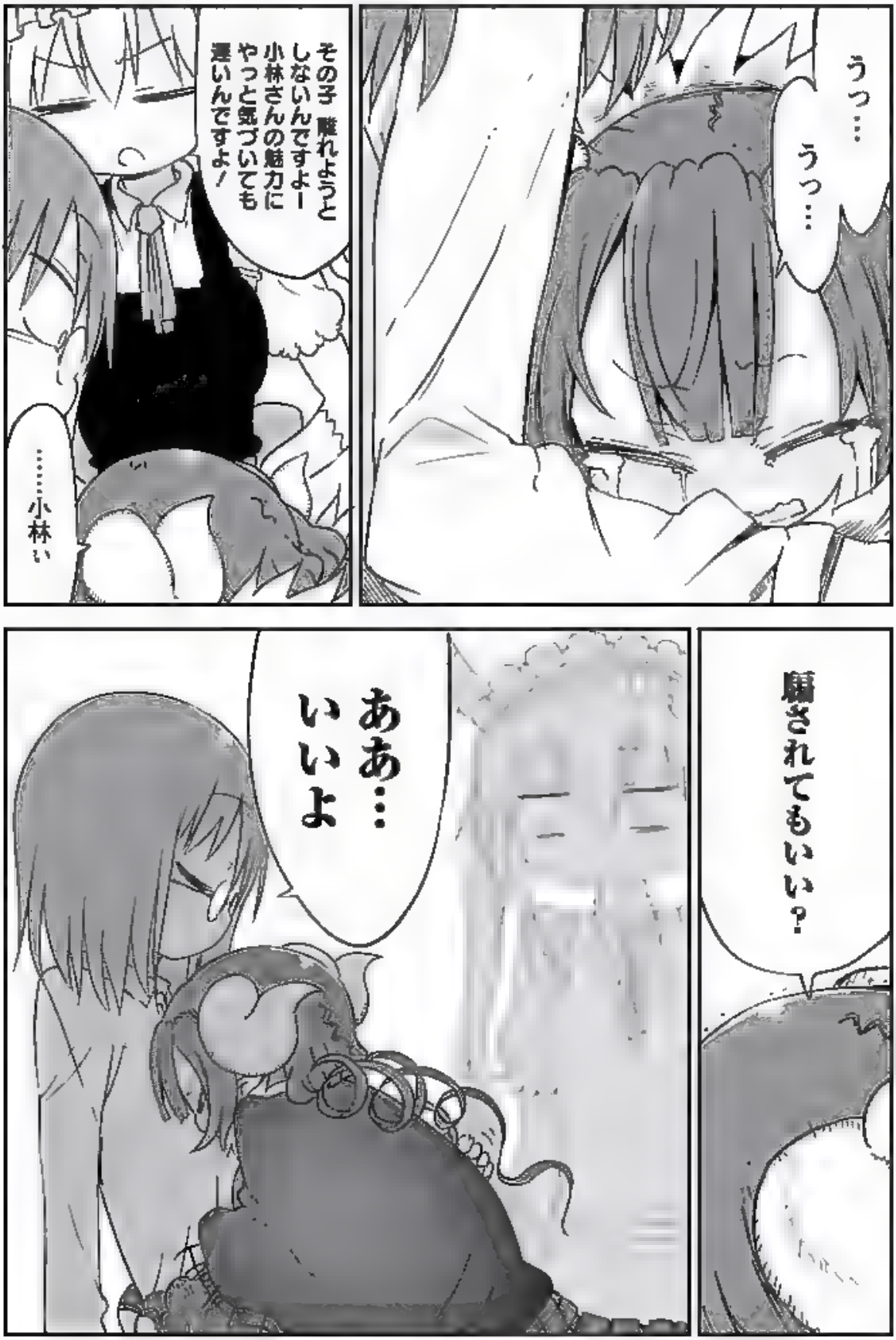
私はそんな時
トールと出会って
変われたんだと思う

そしてイルルに…
そんな昔の自分を
いつのまにか重ねていたの
かもしれない


だから…
ん…
ううん…

あ 小林さん
お気を確かに!!
大丈夫
コバヤシ?


トール…
カンナちゃん…
ここ自宅か…
はい!
傷も治して
おきましたよ!
……
…イルルは?
……そこです
!!


うっ…
うっ…
その子 離れようとしないんですよー
小林さんの魅力にやっと気づいても遅いんですよ！
……小林い
腐されてもいい？
ああ…
いいよ

イルルの騒動が終わって3日後
イルルの態度はとても軟化した
最初はたどたどしかったものの心を開いてくれたようだ
爪とかしっぽとか(胸とか)消さなくて平気なの？
日常生活的に
イルルはあれでもかなり無理してあの姿なんですよ
無理しなければあの胸もっと大きくなるでしょう
あ 爪とかしっぽはその気になれば消せるかと
胸だけ!?
五%くらいほしい!!

第39話 トールとおもり

ジャア――…
W・C
ごん！
コバヤシ
コバヤシー
どん どん
イルル？
あけてー

何？
もれそう？
W・C
糞尿（ふんにょう）って
ここでするん
だろ？
どうやって
やるんだ？

そうなのだ…イルルは
人間の常識を全然
予習せずに この世界にきた…
なのでいろいろ教えることが
多いのだ
ここでしちゃ
まずかったのか…
わ
そう…
そこを
そんな
感じだ
わかったぞ

いろいろ教えていかないとなー
こんな時 優秀なメイドがいてくれたらなー
私 見直しちゃうなー
ごめんねー 仕事行ってる間だけだから
いいんですよー 小林さんと私の永遠の仲じゃないですかー
さりげなく永遠をつけるな
さて…
ピーン
どう接したものか…

ついこの間まで
殺しあった
仲なんだよな…
ゆらら…
通常なら一度
はむかった者は
ぶち殺してるけど…
小林さんの
手前なぁ…
裏切り者を
あのトールが
許すはずが
ない…
しゅくせい
される…
キッ…
だけどコバヤシを
もっと知りたい…
ただでは
やられない
ケンカ！
すんな！
知りたいこと
あります？
うん…
ではこれを
これは？
私が書いた
人間として暮らす
マニュアル
です
さぁ 手を入に
変えなさい
……

〃
ッポン!
何 自嘲気味に笑ってんですか!?
手 作るの下手糞ですか!?
クックック
うまく変換できない…
このまま読む
あっつかめるんですねその手
ぺろ
なんか細かい手がついてる
うぞうぞ
キモ!?

・あいさつ
人間はあいさつによってコミュニケーションをとっている。とりあえず言われたあいさつをふくしょうすること。
・ごはん
人間はだいたいなんでも食べるがドラゴンの肉はなかなか食べない。食べさせる方法求む。
・生殖
したい。
内容が偏っている!!
最後おかしい
私の中の真実です

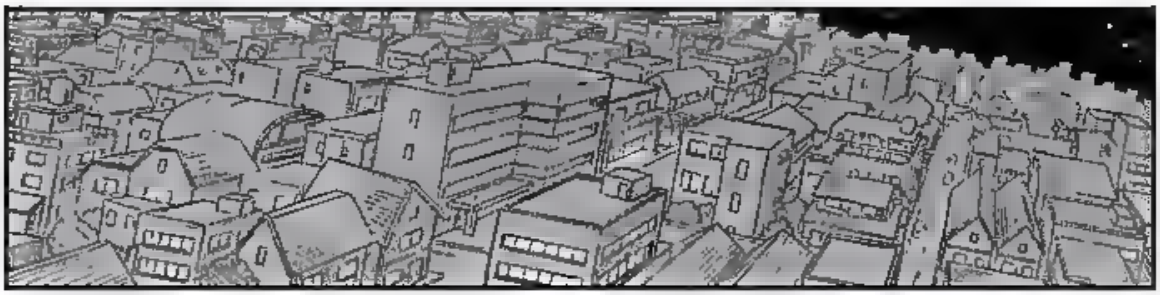
・服
服はなるべく人間が着ているものと同じ物のほうが目立たない。
ん
同じ物？

The異質
覚悟!!!
そうか

まぁいい
私も人に合った
服を着るぞ
サイズ
ないですよ
カンナのが
あるだろ
だからサイズ!!
ごそごそ
あさるな
ほら
あった…
バッシッ
あっ
言わん
こっちゃない!!
私のみたいに
うろこを
変化させれば
どうですか?
そんな器用な
マネできない
じゃあ私の
服を貸し
ましょう
あなた
これから
どうするん
です?
どうする
って?
したい事
ですよ
何かないん
ですか?
したい
事か…

…考えとく…
……
そうですか…
決まるまで
好きなだけ
この家にいてないで
くださいね
ビキ…
建前が言いきれて
いないぞ
意外かも
しれませんが
私はあなたが
ここに
いることを
快く思って
いません!!
意外ではないな
だってあなた
どんな登場の
仕方しました?
血に飢えた
狂戦士
みたいでした
よ!?
いや あれは
トールと戦うのは
楽しそうだった
から…
こんな顔してた!?
やりたいことは
早めに見つけて
くださいね
働かざる者
食うべからずって
やつです
ん
カンナは?
むにゃ
むにゃ
カンナは小学生という
仕事をしています

じゃあ私も
小学生と
いうのをやる
子供じゃないと
いけないん
ですよー
あなた
私と同い歳じゃ
ないですか
そうかー
……
ん～～～～
フンッ
せいぜい…
悩むんですね…



ただいまー
おかえりなさい
イルルどうしたの？
やりたいことを考え中なんですって

見つかるといいね
ジッ…
どした？
とりあえずやりたいこと見つけた
へぇなになに？

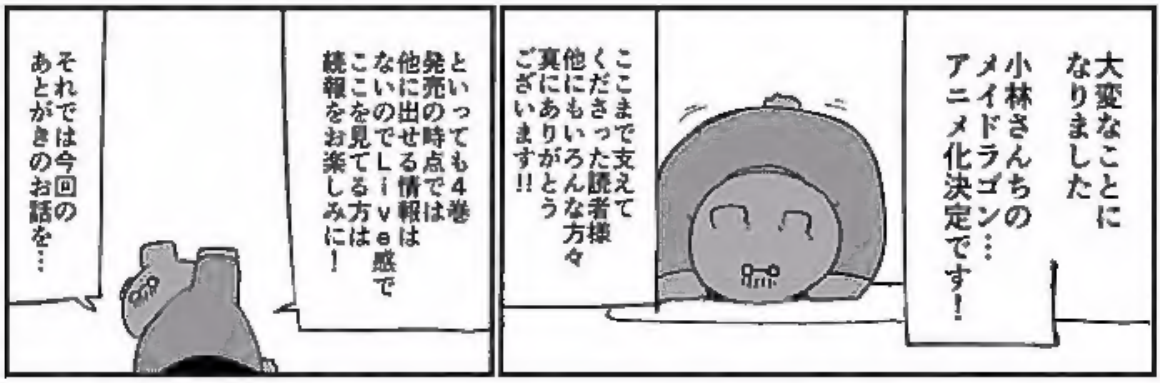
小林と
生殖したい
は？
そう…
考えてみたら
私はもう
子を産み育てる
歳だった
家族のいない
寂しさを小林に
埋めてほしい
小林…私と
契ってくれ
ダメ――!!
そんなの
ダメダメ
ダメの助ですよ!!
というか
メスだし…
また
つけるから!!
ダメです!!
そしたら私が
やりますー
下品…
ねー
使い道のない
貞操だが
お前らには
やらん

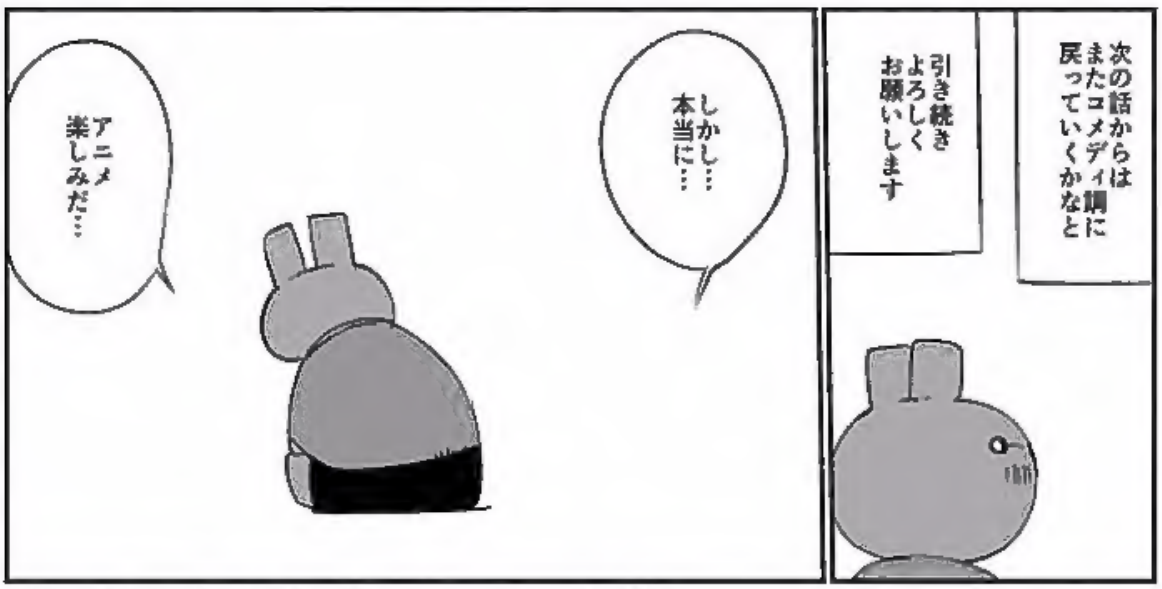
第39話／おわり

しばらくの間よく
襲われた
レ
レ
レ
もがー
ももも

小林さんちのメイドラゴン
The maid dragon of Kobayashi-san

あとがき





協力 おかいす様 ジョヴァンニ・ワークス様

月刊アクション発コミックスを
無料で試し読み!

専用アプリをダウンロードして
読み取り用画像に「かざす」だけ!

※スマートフォン、タブレット端末のみ対応
（一部未対応の機種もあります）

読み取り用画像

読み取りには専用アプリ(無料)
のダウンロードが必要です

詳細につきましては、特設ページ
<http://webaction.jp/appDL/>をご覧ください。
左のQRコードを読み取るか、WEBコミックアクション
TOPページのバナーからも飛べます。

初出「月刊アクション」2015年10月号～2016年4月号

ACTION COMICS

小林さんちのメイドラゴン④

2016年5月12日　第1刷発行

著　者　クール教信者（きょうしんじゃ）
©coolkyousinnjya 2013
発行者　稲垣 潔
発行所　株式会社 双葉社　〒162-8540　東京都新宿区東五軒町3-28
電話03-5261-4818（営業）　03-5261-4804（編集）
装　丁　LIGHTNING
印刷所　三晃印刷株式会社
製本所　株式会社宮本製本所

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製・転載は著作権法上での例外を除き
禁じられています。本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することは、
たとえ個人や家庭内での利用でも著作権法違反です。

WEBコミックアクション　http://webaction.jp
双葉社ホームページ　http://www.futabasha.co.jp
（双葉社の書籍・コミック・ムックが買えます）

この物語はフィクションです。登場人物・団体等はすべて実在のものとは関係ありません。

ISBN978-4-575-84796-3　C9979

デジタル版　2016年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com